

HONDA

Honda Access Corp.

このたびは、Honda純正の商品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。(商品の適用車種はHonda販売店にご確認ください。)
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書とセキュリティカードも一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■ お客様のプライバシー保護のために…

- メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■ 著作権保護のために…

- 本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。
- ※ 弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■ 個人情報のお取り扱いについて

- 個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い上げのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

※ 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、地図データ
ベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

————— Honda Total Careのサービスについて —————

2022年3月時点の情報を基に作成しております。サービス内容並びに仕様について予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。



Index

Intro.		VICS 機能	91
ご使用前に	6	VICSについて.....	91
お客さまへ安全上のご注意	11	交通情報を調べる.....	97
本書のみかた	14	VICSによる自動処理	98
		VICS局を選ぶ.....	100
基本操作	15		
本機について	15		
操作のしかた	29		
ステアリングリモコンについて.....	31		
文字入力のしかた.....	32		
時計・アイコン表示について	35		
お知らせメッセージ	36		
HOME画面について	37		
Apple CarPlay を利用する.....	43		
Android Auto™ を利用する	45		
		AV	
		オーディオ機能について	104
		基本操作	104
		再生できるディスクの種類について	106
		音楽ファイルについて	109
		動画ファイルについて	116
		ラジオ / 交通情報	119
		ラジオを聴く	119
		交通情報を聴く.....	122
		DISC	123
		音楽CD を聴く	123
		ディスクの音楽ファイルを聴く	128
		DVDビデオを見る.....	132
		SD/Music Rack	143
		SDカードの曲を聴く	143
		SDカードの動画を見る	148
		Music Rack に録音する.....	152
		Music Rack を聴く	154
		iPod/iPhone/Android/USB メモリ	166
		接続する.....	166
		iPod を再生する.....	168
		USB デバイスの曲を聴く	172
		USB デバイスの動画を見る	177
		テレビ	179
		テレビ機能について	179
		テレビを見る	180
		放送局・番組を探す	186
		好みの放送局を登録する	190
		情報を確認する.....	193
		その他の操作	194
NAVI			
基本操作	49		
ナビゲーション機能について	49		
ナビ画面について.....	53		
地図画面を設定する	59		
案内表示について	63		
地図を操作する.....	67		
ハイウェイモード表示について.....	68		
地点メニューからの操作	70		
目的地の設定	72		
自宅を目的地に設定する	72		
地図画面から目的地を設定する.....	73		
目的地を検索する.....	74		
ルートの設定・編集	80		
新規ルートの設定.....	80		
ルートを編集する.....	82		
経由地を編集する.....	84		
デモ走行を確認する	87		
地点の登録・編集	88		
登録地点を設定する	88		
登録地点を編集する	89		

外部入力機器	197	本機の設定	278
Bluetooth Audioを使う	197	設定を変更する	278
HDMIの映像を見る	202	NAVI設定	279
INFO		NAVI情報	289
各種情報を確認する	207	AV設定	291
情報の確認や設定をする	207	情報設定	300
ETC情報を確認する	208	Bluetooth/ インターナビ設定	303
ETC2.0 サービス	210	システム設定	311
本機の情報を確認する	212	音量設定	321
その他の機能を使う	213	iPod 利用設定	323
電話を使う	213	ドライブレコーダーの設定	324
フロントカメラを使う	222	テレビの設定	328
リアカメラを使う	225	その他の設定	333
マルチビューカメラを使う	227	Other	
リアカメラ de あんしんプラス 3 を使う	228	困ったときは	335
パーキングセンサーを使う	232	用語解説	347
カメラについて	235	別売品 (システムアップ) について	351
エアコン情報割込表示	236	ソフトウェアについて	352
後席会話サポート機能を使う	237	地図記号について	353
ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)	238	地図ソフトについて	354
ドライブレコーダーを使う (DRH-229ND)	245	VICS 情報有料放送サービス契約約款	357
リア席モニターを使う (デジタル接続モデル)	252	仕様	359
車両の取扱説明書を見る	254	保証とアフターサービス	361
Honda Total Care	255	用語索引	362
Honda Total Care とは	255		
Honda Total Care プレミアムとは	256		
Honda Total Care をご利用になる前に	257		
Honda Total Care をご利用になる前に	258		
Honda Total Care			
画面について	261		
インターナビ情報を確認する	263		
メッセージを確認する	264		
交通情報を確認する	265		
My スポットを利用する	267		
My コースのルートを設定する	268		
駐車場セレクトを使う	269		
立ち寄り履歴 100 から探す	270		
ウェザーを確認する	271		
緊急時のサポートについて	273		
車内 Wi-Fi を使用する	274		
Honda Total Care サービス更新	275		
自動地図データ更新サービスについて	276		
地図データ更新サービスについて	277		

Intro.

あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

ご使用前に	6	ディスクの取り扱いについて.....	26
免責事項について.....	6	取り扱い上のご注意.....	26
ご使用上の注意.....	7	お手入れについて.....	26
共通.....	7	保管上のご注意.....	26
テレビ機能.....	7	ディスク再生の環境について.....	26
電波に関するご注意.....	8	著作権について.....	26
周波数の表示のみかた.....	8	ディスクを挿入する/取り出す.....	27
iPod/iPhone 再生機能.....	8	ディスクを挿入する.....	27
走行中の操作制限について.....	8	ディスクを取り出す.....	27
お手入れのしかた.....	8	操作のしかた	29
商標について.....	9	タップ.....	29
Gracenoteについて.....	10	ロングタップ.....	29
お客さまへ安全上のご注意	11	ダブルタップ.....	29
本書のみかた	14	マルチタップ.....	29
イラスト/画像/モデルの記載について.....	14	フリック.....	29
		スライド.....	30
		ピンチイン.....	30
		ピンチアウト.....	30
		リストから項目を探すとき.....	30
		タブボタンがあるとき.....	30
		ステアリングリモコンについて	31
		文字入力のみかた	32
		文字入力用キーボード.....	32
		フリック入力画面について.....	33
		入力できる文字の種類.....	33
		名称入力キーボード.....	34
		数字入力用キーボード.....	34
		時計・アイコン表示について	35
		各アイコンについて.....	35
		お知らせメッセージ	36
		新着情報を表示する.....	36
		新着情報のリストから確認する.....	36
		HOME画面について	37
		HOMEメニュー.....	37
		HOMEメニューをカスタマイズする.....	39
		オプションボタンを設定する.....	40
基本操作	15		
本機について	15		
モニターパネルについて.....	15		
パネルが閉じているとき.....	15		
パネルが開いているとき.....	17		
パネルを開く.....	18		
パネルを閉じる.....	19		
本機を起動する.....	19		
セキュリティコード入力画面.....	20		
エンジンスイッチONメッセージ画面.....	20		
オープニング画面を変更する.....	21		
本機の機能制限について.....	22		
音量を調節する.....	23		
音量の種類について.....	24		
SDカードについて.....	24		
Music Rackの録音について.....	25		
市販のSDカードを使う場合のご注意.....	25		
取り扱い上のご注意.....	25		
保管上のご注意.....	25		
SDカードを挿入する.....	25		
SDカードを取り出す.....	26		

ショートカットメニュー	40
ショートカットメニューから機能呼び出す	40
ショートカットメニューをカスタマイズする	41
登録できる機能について	42
Apple CarPlay を利用する	43
接続する	43
Apple CarPlay 画面を表示する	43
Siri を使う	43
Siri を起動する	43
Apple CarPlay のマップを表示する	44
Apple CarPlay を終了する	44
Android Auto™ を利用する	45
接続する	45
Android Auto 画面を表示する	45
Google アシスタントを使う	45
Google アシスタントを起動する	45
Android Auto のマップを表示する	46
Android Auto を終了する	46

ご使用前に

免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地点など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万が一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地点の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。弊社は一切の責任を負いません。
本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリー初期化」(P320)の[本機の初期化]をすることをおすすめします。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合があります。また、地図データ不備による損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・高速道路料金や施設利用料などを収録しておりますが、税率変更や各種割引などにより実際の料金と異なる場合がございます。表示金額の不一致による損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。な

- ・お、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。
- ・地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。
- ・地図データの内容は予告なく変更される場合があります。
- ・地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは説明用に作成したものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品を適用している Honda 車以外の車向または、バス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になるおそれがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。
なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができないおそれがあります。必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
 - ≫ 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - ≫ 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - ≫ 高温時など、画面が暗いときがある。
 - ≫ 画面を見る角度によって、色合いや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでるおそれがあります。

- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合があります。
- カバーレンズに樹脂を採用していますが、強い衝撃を与えると樹脂が割れて、けがをするおそれがあります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと正しく反応しない場合があります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権利権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、ラジオやテレビの受信状態が悪くなるなど異常が発生するおそれがあります。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線機器などを車内で使用したり、本機に地上デジタルテレビチューナーのアンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。その場合は、本機の利用を中止するか、本機やアンテナから離してご使用ください。

■ テレビ機能

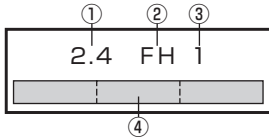
- 本製品は、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送には対応していません。
- 本製品はデータ放送には対応していません。
- 移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
 - ≫ 映像や音声にノイズが発生する。
 - ≫ 映像や音声途切れる。
- 家庭用のデジタルチューナーに比べて受信エリアは狭くなります。
- ワンセグやフルセグ、放送局により受信状態やエリアが変化します。

■ 電波に関するご注意


この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで前記記載の無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から前記記載の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を移動する、電源を切るなどの回避処置をしてください。
3. その他、この機器から前記記載無線局に対し有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、Honda 販売店 (P361) へご相談ください。

■ 周波数の表示のみかた



本機上面の製品ラベル内に図のような表示があります。

- ① 2.4 : 2400MHz 帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH : 変調方式が FH-SS 方式であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が 10m 以下であることを示します。
- ④  : 2400MHz ~ 2483.5MHz の全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ iPod/iPhone 再生機能

- 本機は、iPod/iPhone の音楽の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 適合情報は、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。

走行中の操作制限について

安全のため、走行中は一部操作や表示が制限されます。安全な場所に車を停めて操作してください。

お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つけるおそれがあります。

商標について

- ・「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- ・ **NaviCon** NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- ・ WMA (Windows Media Audio) : Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
- ・ AVI (Audio Video Interleave) は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- ・ 「ゼンリン」および「ZENRIN」は(株)ゼンリンの登録商標です。
- ・ 「タウンページ」は日本電信電話(株)の商標です。
- ・ 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- ・ なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- ・ MPEG4-AVC (H.264)
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO.
NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM
- ・ VC-1
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO.
NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM
- ・ MPEG4-Visual
USE OF THIS PRODUCT IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD IS PROHIBITED, EXCEPT FOR USE BY A CONSUMER ENGAGING IN PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITIES.



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されております。Dolby, Dolby Audio、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI ライセンシング LLCの米国その他の国における商標または登録商標です。



SDHC、SDXC ロゴはSD-3C,LLCの登録商標です。



「VICS」および「VICS WIDE」ロゴは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり「三菱電機株式会社」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



「マップコード」および「MAP CODE」は、(株)デンソーの登録商標です。



Google, Android, Android AutoはGoogle LLCの商標です。



ETCロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。



ETC2.0ロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。



LDACおよびLDACのロゴはソニー株式会社の商標です。



日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品に、このロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

次のページにつづく

Made for

iPhone | iPod

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPod または iPhone 専用 に接続するよう設計され、Apple が定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

Apple、iPhone、iPod、iPod touch、Siri は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Apple CarPlay は、Apple Inc. の商標です。

Apple は、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod touch

- iPod touch (7th generation)

iPhone

- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone X
- iPhone XS
- iPhone XS Max
- iPhone 8
- iPhone 8 Plus
- iPhone XR
- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone SE
- iPhone SE (2nd generation)
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus

※ ビデオ再生および Genius 機能には対応していません。

※ iPad には対応していません。

※ iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

※ 適合情報は、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。

■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote の Web サイト www.gracenote.com をご覧ください。





Gracenote® は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote® ロゴおよびロゴ標記、"Powered by Gracenote" ロゴはグレースノート社の商標です。



※ 本機内蔵の Gracenote® データベースは、データの内容を 100% 保証するものではありません。




お客さまへ安全上のご注意


製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

  このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

   このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告



- 運転者は運転中に、画像を注視しない。
前方不注意となり事故の原因となります。
道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- 運転者は走行中に複雑な操作をしない。
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- 画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- 本機はDC12V マイナス \ominus アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災や故障の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れない。発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- ディスクスロットやSDカードスロットに異物を入れない。
火災や感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。
カメラの死角になっている人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起これば、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造したりしない。
故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。
落雷により感電のおそれがあります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車を行ったりしないでください。
カメラが外れたり、角度がずれたりして故障や事故の原因となることがあります。
- ディスプレイを掴んだりして荷重をかけないようにしてください。
製品の破損やけがの原因となることがあります。
- ディスプレイ開閉時にSDカードやディスクの挿入、取り出しはしないでください。
SDカードやディスクの破損、けがの原因となる場合があります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。
事故の原因となることがあります。

 **注意****必ず行う**

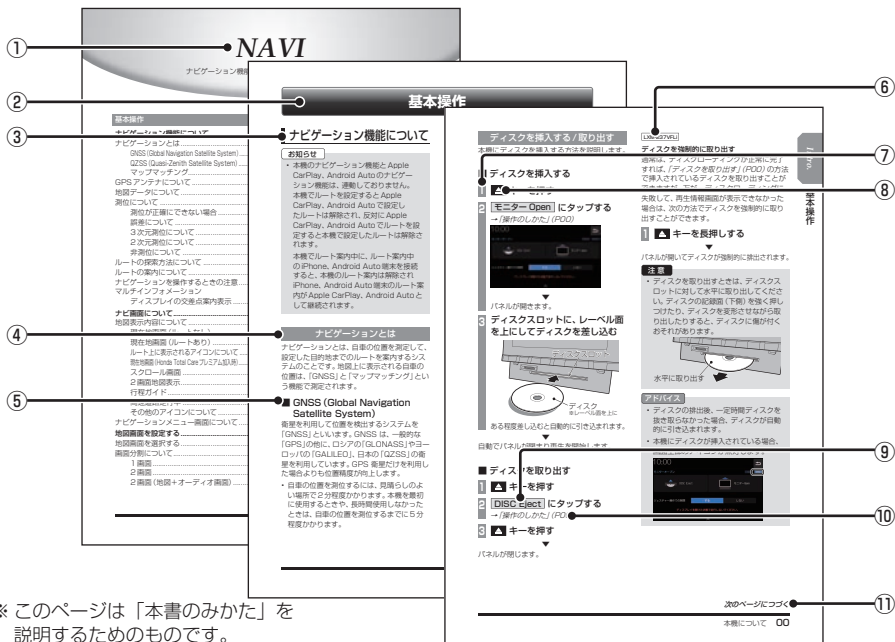
- 取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する。
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**指に注意**

- ディスクスロットやSDカードスロットに手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- ディスプレイは自動で閉じるので、手や指を挟まれないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※ このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。実際のページ、説明内容とは異なります。

- ① **編見出し**
主な機能に分けて分類しています。
- ② **章見出し**
編分類の中でさらに機能进行分类し、各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認できます。
- ③ **大見出し**
章分類の中で主な操作や機能を分類しています。
- ④ **中見出し**
大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。
- ⑤ **小見出し**
中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。
- ⑥ **LX0-237xxx**
機種により機能が異なる場合に記載しています。
- ⑦ **操作手順**
操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

- ⑧ **○○○○** キーまたは **[○○○○]** キー
パネルでの操作キーを示します。
- ⑨ **○○○○** または **[○○○○]**
画面上に表示されるボタンを示します。
- ⑩ **(P000)**
参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。
- ⑪ **次のページにつづく**
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

■ **イラスト/画像/モデルの記載について**
本書では代表として「LXM-237VFLi」のイラスト/画像を記載しています。機種により機能や操作が異なる箇所には、モデル名を記載しています。

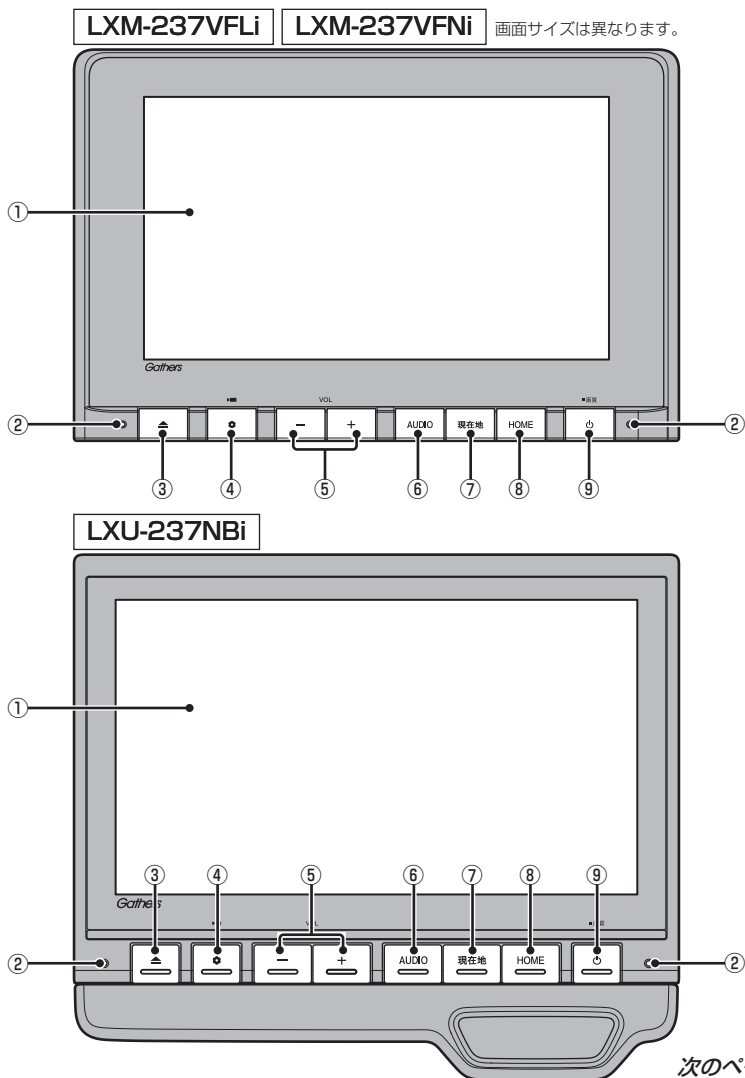
- LXM-237VFLi: **LXM-237VFLi**
- LXM-237VFNi: **LXM-237VFNi**
- LXU-237NBi: **LXU-237NBi**

本機について

モニターパネルについて

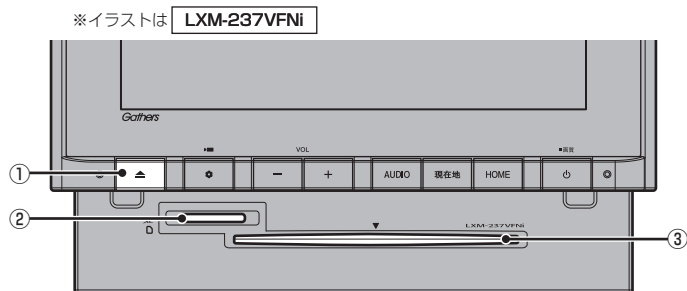
モニターパネルの各部の名称と働きについて説明します。

■ パネルが閉じているとき



- ① **ディスプレイ**
ディスプレイに表示されるボタンにタップ (P29) することで、ほとんどの操作が行えます。
- ② **マイク**
本機にマイクを内蔵しています。音声認識やハンズフリー通話のときに使用します。
- ③ **▲ キー**
モニターパネルを開閉するときや、SDカード (P25)、ディスク (P27) の出し入れをするときに使用します。長押しするとパネルが開き、ディスクを取り出すことができます。
- ④ **⊙ キー**
オプションボタン動作の設定画面で設定した機能呼び出します。(→P40)
ドライブレコーダーの手動録画を開始します。(→P239,246)
本機の電源をOFFしたときに点滅させることができます。(→P312)
- ⑤ **— キー / + キー (→P23)**
オーディオや電話の着信 / 受話音量、音声案内の音量を調節できます。
各音声出力中に押すと調節できます。
- ⑥ **AUDIO キー**
AUDIOメニューまたはオーディオ画面を表示します。(→P104)
- ⑦ **現在地 キー (→P53)**
ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。
ルートを設定している場合、音声によるルート案内を聞くことができます。
- ⑧ **HOME キー**
HOME画面を表示します。→ (P37)
- ⑨ **⏻ キー**
押すと、オーディオのON/OFFを切り換えます。(→P105)
長押しすると、画質の調整画面を表示します。(→P333)

■ パネルが開いているとき



① **▲** キー

モニターを閉じるときに使用します。

② SDカードスロット

SDカードを挿入します。SDカード内の音楽ファイルの再生 (P143) や動画ファイルの再生 (P148)、Music Rack への録音 (P152) が行えます。

③ ディスクスロット

本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。

→「ディスクを挿入する」(P27)

■ パネルを開く

ジェスチャー操作で開く

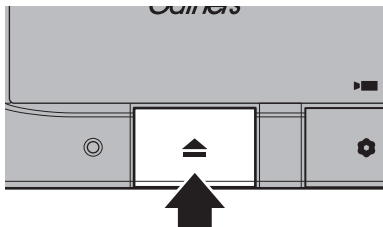
1 部から上にスライド (P30) する



▼
パネルが開きます。

キー操作で開く

1 キーを押す



2 DISC Eject または モニター Open にタップする



▼
パネルが開きます。

アドバイス

- パネルが開いている間、SDカードスロット、ディスクスロットの照明が点灯します。
- ジェスチャー操作をオフにするには、ジェスチャー操作での開閉の[しない]にタップします。
- 何も操作しない場合は約10秒で自動的にパネルが閉まります。

■ パネルを閉じる

ジェスチャー操作で閉じる

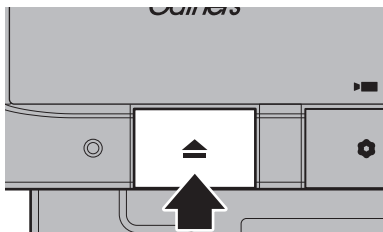
- 1 **▼** 部から下にスライド (P30) する



パネルが閉じます。

キー操作で閉じる

- 1 **▲** キーを押す



パネルが閉じます。

本機を起動する

本システムを起動します。

- 1 エンジンスイッチを“アクセサリ”または“ON”にする



オープニング画面が表示され、しばらくするとHOME画面やオーディオ画面、ナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面(ラスト画面)に切り換わります。

■ セキュリティコード入力画面

車両点検などバッテリーを外した後に起動すると表示されます。



セキュリティコードを入力し、[決定]にタップしてください。



セキュリティコード(数字5桁)はセキュリティカードに記載されています。セキュリティカードは、なくさないように車外に保管してください。

お知らせ

- 規定回数間違えると、一定時間操作ができなくなります。
- セキュリティコードを忘れた、セキュリティカードをなくした場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティコードは変更できません。
- 次回からセキュリティコードを入力せずに起動(セキュリティ設定解除)できます。
→「セキュリティの設定」(P312)
- 車両やグレードによっては、フレームNo.を読み取り、自動的にセキュリティを解除します。(セキュリティコード入力画面は表示されません。)

■ エンジンスイッチONメッセージ画面

セキュリティコードを入力せずに自動的に本機のセキュリティを解除する車両の場合、エンジンスイッチOFF時に下記の画面が表示される場合があります。

下記の画面が表示されたときは、エンジンスイッチをONにしてください。セキュリティが解除され、本機が起動します。



エンジンスイッチOFFの状態でも本機のセキュリティを解除したいときは、[コード入力]をタップし、セキュリティコードを入力してください。

オープニング画面を変更する

本機の起動時に表示される起動画面を変更します。



1 画像を弊社Webサイトから入手し、SDカードに取り込む

入手先やSDカードへの取り込み方法は、弊社Webサイトのナビゲーションページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/navi/support/>

2 画像を取り込んだSDカードを本機に挿入する

3 **HOME** キーを押す

HOME画面を表示します。

4 **設定/情報** → **システム設定** → **起動画面変更** にタップする

5 リストから画像を選択し、**決定** にタップする

6 **はい** にタップする



起動画面の変更が完了します。

お知らせ

- [工場出荷時の画像に戻す]にタップすると、工場出荷時の起動画面に戻ります。車種によっては納車時のオープニング画面と異なる場合があります。
- SDカードに取り込んだ起動画像は、ほかの用途には使用できません。
- 起動画面には弊社Webサイトで提供する専用画面のみ対応しています。

本機の機能制限について

本機は、車両の装備やグレードにより、下記機能が使えない場合があります。
詳しくはお近くのHonda販売店までお問い合わせください。

分類	機能	詳細
メーター連携	Turn by Turn	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内の際、交差点案内を表示する機能。 ^{※1}
	ナビ・オーディオ情報メーター表示	メーター側のステアリングリモコン操作で、ナビの目的地設定操作やAudioのソース切換、電話の発信受話などの操作を可能とする機能。
	車両メーター内時計の連動機能	本機から車両のメーターに時刻情報を送信し、メーター内時計の時刻を合わせて連動させる機能。
	天気予報表示(ウェザーインフォメーション)	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、今日および明日の天気情報を表示する機能。
エアコン	エアコン操作フィードバック	エアコンパネルの操作を画面の上部に割り込み表示する機能。
	PM2.5	車内のPM2.5濃度を専用画面で表示する機能。
ワイヤレスチャージャー	ワイヤレスチャージャー	画面の上部に充電中のアイコンが表示される機能。
イルミ連動	イルミ減光キャンセル機能 ^{※2}	車両のイルミ減光キャンセル機能に連動し、本機の画面を昼画面輝度に自動で切り換える機能。
カメラ	マルチビューカメラ	車両前後左右や自車を上空から見下ろしたような映像を表示する機能。

※1 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。

※2 車両インストルメントパネル照明が減光しているとき(車両イルミスイッチON状態)、インストルメントパネル照明調整ノブを最大方向に回すと減光状態が解除される機能。調整ノブの配置など当機能の詳細は車両の取扱説明書をご覧ください。

音量を調節する

オーディオや電話の着信、受話音量、各種音声案内の音量を調節します。

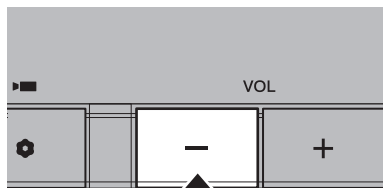
ここでは音声案内中に音量を変更した場合で説明します。

お知らせ

- アイドリングストップ中は消費電流を抑えるために、音量の設定値にかかわらず、音量の大きさを自動で制限して、大きな音がでなくなります。
- アイドリングストップ中に音量操作を行わなければ、アイドリングストップが解除されたのちに自動で元の音量に戻ります。
- アイドルストップにより音量制限するとき、テロップが表示されます。
- アイドリングストップ中の音量操作に以下の制限があります。
 - 音量レベルが21以上でアイドリングストップになった場合、音量を上げる操作はできません。音量を下げる場合は音量レベル0～20の範囲で音量の操作ができます。
 - 音量レベルが20以下でアイドリングストップになった場合、音量レベル0～20の範囲で音量の操作ができます。

1 音声案内が出力されているときに

— キーを押す



音量表示



音声案内の音量が小さくなります。

2 + キーを押す

音声案内の音量が大きくなります。

■ 音量の種類について

以下の音が出力されているときに、音量を調節できます。

種類	表示	音量レベル
電話 (着信)	 [緑色]	1 ~ 11
電話 (受話)	 [緑色]	1 ~ 11
音声案内	 [赤色]	1 ~ 11
オーディオ	 [青色]	0 ~ 40

アドバイス

- 音声案内が終了するまでオーディオの音量は調整できません。
- 電話 (着信) および電話 (受話) の音量は着信中、通話中の画面で調整できます。

SD カードについて

本機はオーディオ機能で使用するSDカードに対応しております。SDカードには、Music Rackの音楽CD録音用の専用SDカード(車載用8GB、Class10)と市販されているSDカードがあります。専用SDカードはお買い上げ時、本機に挿入されています。

警告



必ず行う

- 事故防止のため、SDカードは乳幼児の手の届かないところに保管する。
万一、お様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- SDカードの抜き差しは、安全な場所に停車してから行ってください。
- SDカードでデータを読み書きしているときに、SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
記録されたデータの消失または破損のおそれがあります。
 - Sound Settingsの操作中
 - Music Rackの曲を編集集中
 - CD録音中
 - SDカードの初期化中
 - CD-DAの曲タイトル取得中
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- SDカードスロットに異物を入れないでください。けがや発煙、発火の原因になります。

お知らせ

- SDカードのデータ消失による損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)
- SDカードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができなくなる場合があります。

■ Music Rack の録音について

- Music Rack に音楽 CD を録音するときには、専用 SD カードを使用してください。
→「[Music Rack への録音について](#)」
(P152)

■ 市販の SD カードを使う場合のご注意

- SD カードの容量は設計上最大 2TB までサポートしております。SD カードのスピードクラスは Class10 以上、容量は 128GB までを推奨いたします。なお、すべての SD カードに対して動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- パソコンの標準機能を使用してフォーマットした SD カードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になる SD カードは本機でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットすると、SD カード内にあるすべてのデータは消去されます。SD カード内のデータはバックアップしておくことをおすすめします。
- 本機でのフォーマットは、「[メモリ初期化](#)」(P320) で「SD カードの初期化」を選ぶことで行えます。

■ 取り扱い上のご注意

- SD カードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。SD カードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SD カードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでに SD カードが挿入された状態で他の SD カードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SD カード以外のものを挿入しないでください。SD カード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

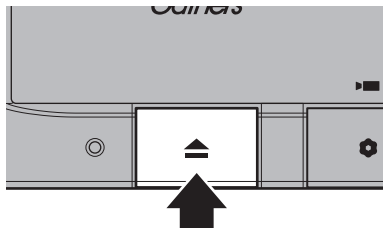
SD カードを挿入する

オーディオ機能のために使用する SD カードを本機に挿入します。

お知らせ

- お買い上げ時、本機に専用の SD カードが挿入されています。

1 ▲ キーを押す



2 モニター Open にタップする

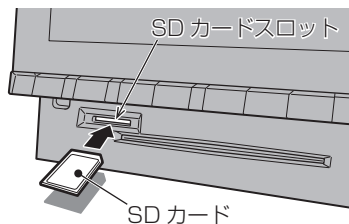
→「[操作のしかた](#)」(P29)



▼
パネルが開きます。

3 SD カードスロットに SD カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



※ ラベル上面を上向きにしてください

4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

▼
SD カードを利用したオーディオ機能が使用可能となります。

SDカードを取り出す

オーディオ機能のために使用するSDカードを本機から取り出します。

1 ▲ キーを押す

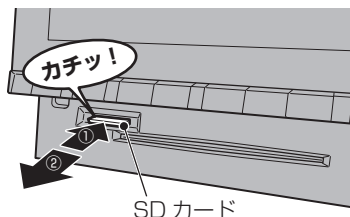
2 モニター Open にタップする

→「操作のしかた」(P29)



▼
パネルが開きます。

3 SDカードを「カチッ」と音がするまで押す

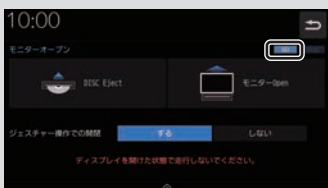


SDカードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

アドバイス

- 本機にSDカードが挿入されている場合、画面上部のアイコンが点灯します。



ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなる場合があります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的なクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周と中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐ使用になると、ディスクや内部の光学部分に露(水滴)が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

ディスクを挿入する / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注意

- ディスク交換は、安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスクスロットに手や指、異物を入れないでください。けがや発煙、発火の原因になります。
- パネル上にものを置かないでください。
- ディスクを挿入すると自動でパネルが閉まります。ただし、プログラムの更新中は自動でパネルは閉まりません。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないように注意してください。

ディスクを挿入する

1 ▲ キーを押す

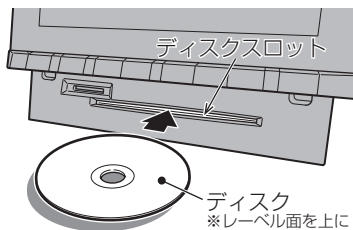
2 モニター Open にタップする

→「操作のしかた」(P29)



パネルが開きます。

3 ディスクスロットに、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

自動でパネルが閉まり再生を開始します。

ディスクを取り出す

1 ▲ キーを押す

2 DISC Eject にタップする

→「操作のしかた」(P29)



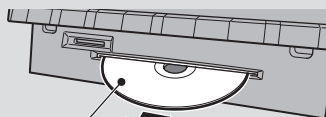
パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 ▲ キーを押す

パネルが閉じます。

注意

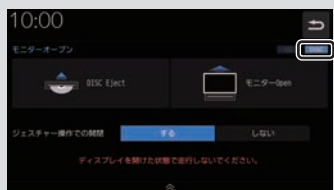
- ディスクを取り出すときは、ディスクスロットに対して水平に取り出してください。ディスクの記録面(下側)を強く押しつけたり、ディスクを変形させながら取り出したりすると、ディスクに傷が付くおそれがあります。



水平に取り出す

アドバイス

- ディスクの排出後、一定時間ディスクを抜き取らなかった場合、ディスクが自動的に引き込まれます。
- 本機にディスクが挿入されている場合、画面上部のアイコンが点灯します。



ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」(P27)の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングに失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 ▲ キーを長押しする



パネルが開いてディスクが強制的に排出されます。

操作のしかた

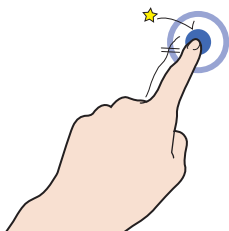
本システムでは、ディスプレイに直接触れることで操作するマルチタッチパネルを採用しています。

注意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。

■ タップ

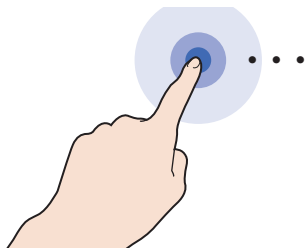
“決定”する操作を行うときなどに使用します。



画面に軽く触れてすぐに離します。

■ ロングタップ

早送りや早戻しするときなど、さまざまな場面で使用します。



画面に触れたままの状態にします。

■ ダブルタップ

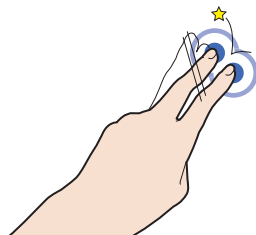
地図の範囲を1段階ずつ詳細にするときに使用します。



1本の指ですばやく2回タップします。

■ マルチタップ

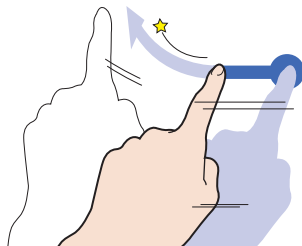
地図の範囲を1段階ずつ広域にするときに使用します。



2本の指で1回タップします。

■ フリック

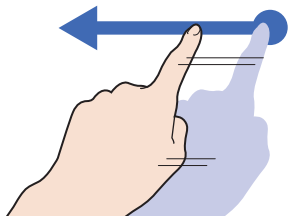
リストや地図をすばやくスクロールするときに使用します。



画面に触れたまますばやく指をはらうように動かし、画面から指を離します。

■ スライド

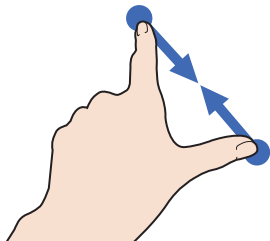
指の動きに合わせて画面をスクロールするとき 사용합니다。



画面に触れたまま指を動かします。

■ ピンチイン

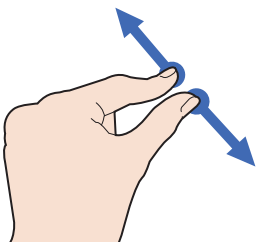
地図の範囲を広域にするときに 사용합니다。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を縮めるように動かします。

■ ピンチアウト

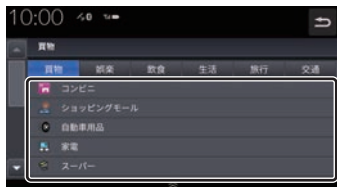
地図の範囲を詳細にするときに 사용합니다。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を広げるように動かします。

リストから項目を探るとき

リストの上でフリックまたはスライドします。上の方向に指を動かすとリストは下へスクロールします。





探している項目が表示されたら直接その項目にタップします。



タブボタンがあるとき

分類がタブボタンで分かれている場合があります。

分類のタブボタンに直接タップすることで、分類の先頭までリストが移動します。



分類の数が多いときは、、 が表示されます。

、 にタップすることで分類のタブボタンを1ページずつ送ることができます。

ステアリングリモコンについて

ステアリングリモコンは、本機で設定すると各ボタンの機能を変更できます。

→「ステアリングリモコン動作の設定」(P313)

下記の説明は工場出荷時の設定で動作する内容です。

キー / キー

音量を調節できます。

キー

画面の表示を地図画面 / Audio 画面に切り換えます。Apple CarPlay 接続時は Apple CarPlay 画面と Apple CarPlay 画面に切り換わる前に表示していた画面、Android Auto 接続時は Android Auto 画面と Android Auto 画面に切り換わる前に表示していた画面を切り換えます。

SOURCE キー / 、 キー

オーディオのソースを切り換えることができます。オーディオが OFF のときは動作しません。

、 キー

CD などのトラックやラジオの放送局を選ぶことができます。また、DVD のチャプターを切り換えることができます。

キー

オプションボタン動作の設定画面で設定した機能呼び出します。

キー

ハンズフリー電話の場合

- 着信時に電話を受けます。
- 登録番号画面を表示します。
- 長押しするとリダイヤル発信確認画面を表示します。[はい]にタップして前回電話をかけた番号にリダイヤルします。

Apple CarPlay または Android Auto 電話の場合

- 着信時に電話を受けます。

キー

ハンズフリー、Apple CarPlay または Android Auto で通話中の電話を切ります。上記以外で  の操作が可能な画面では、1 つ前の画面に戻ります。

キー

Apple CarPlay または Android Auto 利用時に押すと Siri または Google アシスタントを起動します。

レフトセクターホイール

上下に回しソースを切り換えます。

レフトセクタースイッチを押して決定します。

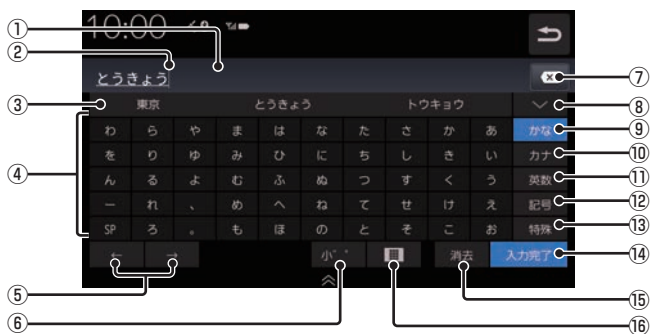
※ ステアリングボタンによっては変更できないメニューがあります。

※ 車両によってはデザインやボタン数が異なり、本機の操作では使用しない場合があります。

文字入力のしかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。

文字入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。確定前の文字には下線が付きます。

② カーソル

| で表示され、| の左側に文字が入力されます。

③ 変換文字候補リスト

入力した文字の変換候補が3件表示されます。候補にタップすることで文字が入力されます。

④ 入力キーボード

タップで表示されている文字を入力できます。

⑤ ←, →

カーソルの位置を移動します。

⑥ 小, 全角, 半角, 大文字, 小文字, 特殊1, 特殊2, 特殊3

入力キーボードに表示される文字により選択できます。

⑦ ×

入力中の文字を一文字削除します。

⑧ 変換文字候補リスト表示

タップすると変換候補を一覧表示します。もう一度タップすると一覧が消えます。

⑨ かな

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑩ カナ

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑪ 英数

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑫ 記号

入力キーボードに表示される文字が「記号」に切り換わります。

⑬ 特殊

入力キーボードに表示される文字が「特殊文字」に切り換わります。

⑭ 入力完了

入力された文字をすべて確定します。

⑮ 消去

入力文字表示部の文字を1文字ずつ削除します。

⑯ □ / □

キーボードの入力タイプをタップ/フリックに切り換えます。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないボタンや別のボタンになることがあります。

フリック入力画面について

□ にタップすると、キーボードタイプがフリック入力に切り換わります。フリック (P29) で表示された文字を選択し、入力します。



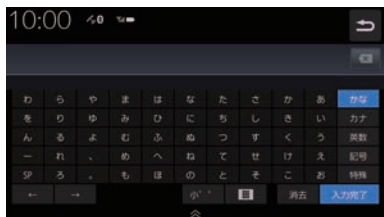
入力できる文字の種類

入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。

文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。

ただし、機能によって入力できる文字を制限することがあります。

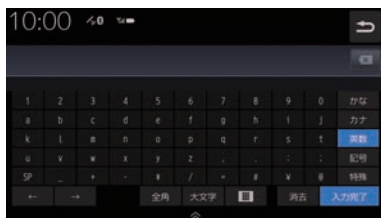
ひらがな



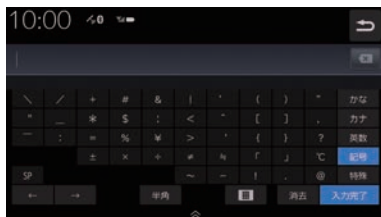
カタカナ



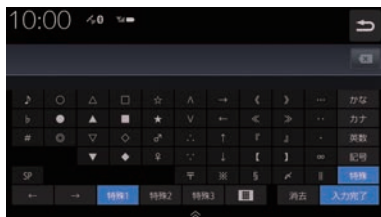
アルファベット/数字



記号



特殊文字



アドバイス

- [特殊1]～[特殊3]をタップすると、入力キーボードの文字が切り換わります。

名称入力キーボード

名称を「ひらがな」で入力し検索できるように用意されています。



検索結果を表示可能な件数までひらがなを入力したら[検索]にタップします。

アドバイス

- 検索件数が表示可能な件数以下になると[検索]をタップして検索結果を表示することができます。

数字入力用キーボード

電話番号や郵便番号など数字のみを入力できるように用意されています。

電話番号用



郵便番号用



時計・アイコン表示について

画面上部に表示される内容について説明します。



① 時計表示

24時間制で時計を表示します。
タップするとアナログ時計またはデジタル時計を表示することができます。

② アイコン表示エリア

本機の状態や車両の状態をアイコンで表示します。

③ (戻る)

1つ前の画面に戻ります。













アドバイス

- 時計のアイコンにタップするとアナログ時計またはデジタル時計を表示することができます。
- 時計表示の画面から [設定] にタップすると、時計表示や時報の設定ができます。
→「時計の設定」(P315)



■ 各アイコンについて

表示例)

	準天頂衛星 (P49) を受信時に表示します。 受信している衛星の状態は測位情報画面に表示されます。 →「測位情報」(P289)
	Bluetooth 接続されていると表示します。 →「Bluetooth の設定」(P303)
	携帯電話の電波強度を表示します。
	テレマティクスユニットの電波強度を表示します。
	ETC/ETC2.0 を接続している場合、ETC 機能の状態を表示します。 →「ETC 情報を確認する」(P208)
	ドライブレコーダーを接続している場合に表示します。 →「ドライブレコーダーを使う (DRH-204VD)」(P238) →「ドライブレコーダーを使う (DRH-229ND)」(P245)
	フロントカメラが接続されている場合に表示します。 →「フロントカメラを使う」(P222)
	友達マップ機能が ON の場合に表示します。 アイコンの色 緑色：友達マップ機能 ON 黄色：友達マップ機能 ON でナビ・スマートフォン間の通信エラー発生 →「友達マップを表示する」(P78)
	後席会話サポート機能動作時に表示します。 →「後席会話サポート機能を使う」(P237)
	音声ミュート時に表示します。
	お知らせメッセージを受信すると表示します。
	運転支援系の機能を表示します。

お知らせメッセージ

Hondaからのお知らせなど、カーライフに役立つ情報をタイムリーに確認できます。また、未読のメッセージも確認できます。

新着情報を表示する

1 “新着情報” にタップする



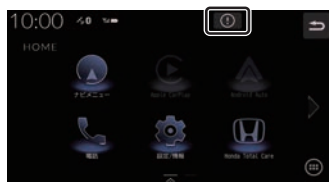
新着情報を表示します。

 にタップすると元の画面に戻ります。

新着情報のリストから確認する

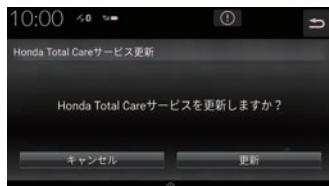
新着情報がある場合、画面上部に新着情報アイコンを表示します。

1 “新着情報アイコン” にタップする



新着情報リストを表示します。

2 “確認したい新着情報” にタップする



タップした新着情報を表示します。

 にタップすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 新着情報リストは情報更新日時の新しい順に追加されます。
- 新着情報リストの[消去] ボタンを押すとリストから削除することができます。

HOME 画面について

各メニューから、さまざまな機能を使うことができます。

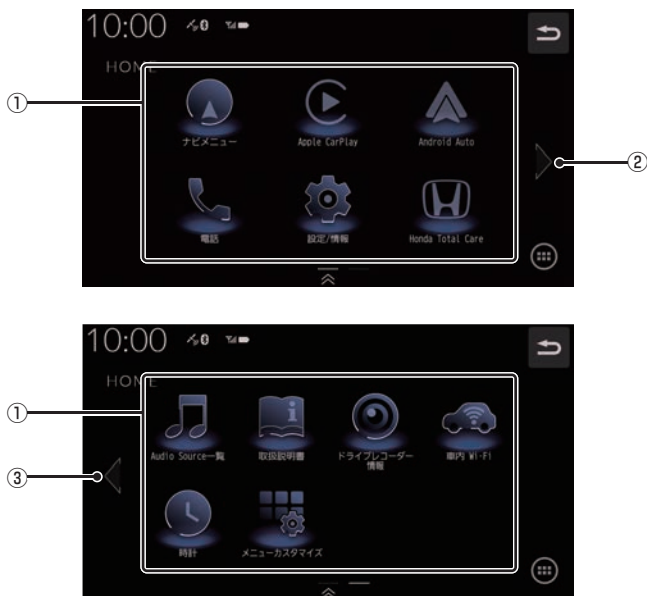
HOME メニュー

[HOME] キーを押して表示する HOME メニューについて説明します。

HOME メニューには機種や車両の装備によって表示しないメニューがあります。

(表示例は **LXM-237VFLi** / **LXM-237VFNi**)

HOME メニューはカスタマイズできます。(→P39)



次のページにつづく

① メニューアイコン

各アイコンにタップするとメニューを表示します。

ナビメニュー	ナビメニューを表示します。→(P58)
Apple CarPlay ^{*1}	Apple CarPlay の画面を表示します。→(P43)
Android Auto ^{*1}	Android Auto の画面を表示します。→(P45)
電話	電話画面を表示します。→(P214)
設定 / 情報	設定 / 情報画面を表示します。→(P278)
Honda Total Care	Honda Total Care のメニュー画面を表示します。→(P261)
Audio Source 一覧	オーディオのソース画面を表示します。→(P104)
取扱説明書 ^{*2} ^{*3}	車両の取扱説明書を表示します。→(P254)
車内 Wi-Fi ^{*3}	車内 Wi-Fi 画面を表示します。→(P274)
時計	デジタル時計またはアナログ時計を表示します。→(P35)
メニューカスタマイズ	ボタンの構成 (個数) の変更やボタンの入れ換えをすることができます。 →(P39)
緊急サポート ^{*2} ^{*4}	緊急サポート画面を表示します。→(P273)
ドライブレコーダー情報 ^{*1} ^{*2}	ドライブレコーダー情報画面を表示します。→(P290)
PM2.5 ^{*1} ^{*3} ^{*5}	PM2.5 の情報画面を表示します。→(P236)
カメラ ^{*1} ^{*3} ^{*5}	カメラの情報を表示します。→(P227)

②

右ページを表示します。

画面をフリック (P29) / スライド (P30) しても切り換えることができます。



③

左ページを表示します。

画面をフリック (P29) / スライド (P30) しても切り換えることができます。

※ 1 使用できない場合、使用制限がある場合、認証されていない場合はマスク表示となります。

※ 2 走行中はマスク表示となります。

※ 3   のみとなります。

※ 4  のみとなります。

※ 5 車両の装備によっては表示されない場合があります。

HOMEメニューをカスタマイズする

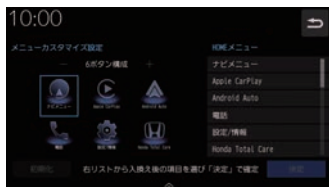
1 HOME画面の

メニューカスタマイズ
にタップする

2 **−** または **+** にタップして、画面に表示されるボタンの数を変更する



3 ~ 8個に変更できます。



メニューのリストが表示されますので変更したいメニューにタップしてください。

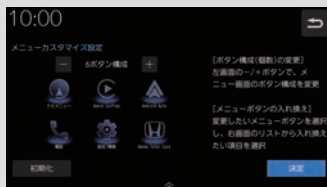
3 **決定** にタップする



メニューのカスタマイズが完了します。

アドバイス

- [初期化]にタップすると工場出荷時の配置に戻ります。
- すでに配置されているボタンに変更(移動)した場合、元の位置のボタンは何も配置されていない状態になります。



オプションボタンを設定する

🔘 (オプションボタン) キーによく使う機能を1つ選んで設定できます。

お知らせ

- フロントカメラを接続している場合は、[フロントカメラ切替]機能が設定されています。
- マルチビューカメラを接続している場合は、[マルチビューカメラ切替]機能が設定されています。

1 HOME キーを押す

HOME画面を表示します。

2 [設定/情報] → [システム設定] にタップする

3 [ハードキー動作の設定] → [オプションボタン動作の設定] にタップする

4 設定したい“機能”にタップする

自宅	現在地画面の場合、自宅を目的地に設定します。
昼夜切替	画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
フロントカメラ切替	フロントカメラを接続している場合、カメラ映像に切り換えます。
マルチビューカメラ切替	マルチビューカメラを接続している場合、マルチビューカメラの映像に切り換えます。
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーが本機に接続されている場合、静止画撮影を行います。
後席会話開始/停止	後席会話サポート機能の開始/停止を切り換えます。

5 [決定] にタップする

▼
オプションボタンの設定が完了します。

ショートカットメニュー

よく使う機能を自由にまとめておけるメニューです。現在地画面(P53)から呼び出すことができます。

走行中は、選択できない項目があります。

■ ショートカットメニューから機能呼び出す

1 現在地画面から

[ショートカット] にタップする



2 呼び出したい“機能”にタップする



▼
タップした機能呼び出します。

アドバイス

- ショートカットメニューを閉じるときは [閉じる]、前の画面に戻るときは [戻る] にタップします。

■ ショートカットメニューをカスタマイズする

あらかじめ用意された一覧をカスタマイズします。ショートカットメニューに登録できる機能については、「登録できる機能について」(P42)をご覧ください。

1 現在地画面から **メニュー** にタップする

ナビメニュー画面を表示します。

2 **ナビ設定** にタップする

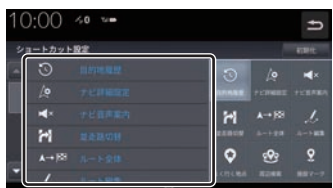
3 **ショートカット設定** にタップする

ショートカットメニューの設定画面を表示します。

4 設定したい場所のアイコンにタップする



5 リストから設定したい“機能”にタップする



タップしたアイコンの位置に選択した機能が設定されます。

登録済みのメニューにタップするとタップしたメニューの位置が入れ替わります。

アドバイス

- [初期化]にタップすると工場出荷時の設定に戻ります。

■ 登録できる機能について

ショートカットメニューには以下の機能から9件まで登録できます。

機能	タップ時の動作
目的地履歴	目的地履歴画面を表示します。(→P75)
ナビ詳細設定	ナビ詳細設定画面を表示します。(→P280)
ナビ音声案内	ナビ音声案内のON/OFFを切り換えます。
並走路切替	並走路切り替え画面を表示します。(→P86)
ルート全体	ルート全体を表示します。(→P83)
ルート編集	ルート編集画面を表示します。(→P82)
よく行く地点	よく行く地点に設定した地点を表示します(→P89)
周辺検索	周辺検索画面を表示します。(→P71)
施設マーク	地図に表示する施設マークを設定します。
NaviCon友達マップ	NaviCon友達マップ画面を表示します。(→P78)
NaviCon友達マップ全体表示	NaviCon友達マップ全体画面を表示します。(→P79)
ドライブレコーダー動画録画	ドライブレコーダー動画録画を開始/延長します。 DRH-204VDの場合(→P239)
	ドライブレコーダー動画録画を開始します。 DRH-229NDの場合(→P246)
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダー静止画撮影を開始します。 DRH-204VDの場合(→P240) DRH-229NDの場合(→P247)
案内停止/案内再開	ルート案内を停止、再開します。

Apple CarPlay を利用する

本機に Apple CarPlay 対応の iPhone を USB ケーブルで接続すると Apple CarPlay を利用できます。

接続する

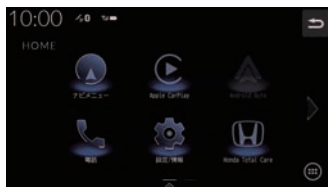
本機と iPhone を USB ケーブルで接続します。接続のしかたについては「接続する」(P166)をご覧ください。

お知らせ

- 最新の OS バージョンを使ってください。
- iPhone の適合ソフトウェアは、<https://www.honda.co.jp/navi/support/> をご覧ください。
- [AUDIO] キーを押すと Apple CarPlay の状態によっては Apple CarPlay 画面を表示します。
- 走行中は Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- iPhone の電波状態が悪いなど iPhone の状態によっては Apple CarPlay の動作が制限される場合があります。
- Apple CarPlay は Apple 社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 弊社は、Apple Carplay をご利用いただいたことにより生じた損害について一切の責任を負いません。
- Apple CarPlay を利用しているあいだ、ユーザー情報および位置や速度などの車両情報がスマートフォンより送信されます。Apple CarPlay を利用することで、それらの利用規約に同意したことになります。
- 接続時や起動するときは、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- Apple CarPlay の詳細な機能などについては <https://www.apple.com/jp/ios/carplay/> をご覧ください。

Apple CarPlay 画面を表示する

- 1 **HOME** キーを押し、**Apple CarPlay** にタップする



Apple CarPlay を表示します。

Siri を使う

■ Siri を起動する

- 1 **ステアリングリモコンのキーを押す**
Siri が起動します。
- 2 **用件を話す**

Apple CarPlayのマップを表示する

1 現在地 キーを押す



Apple CarPlayのマップを表示します。

アドバイス

- Apple CarPlay Turn By Turnが有効でない場合は最後に表示していた地図画面を表示します。

Apple CarPlayを終了する

本機からiPhoneを取り外すとApple CarPlay接続が解除され終了できます。Apple CarPlayを利用中は、本機の機能が一部制限されますのでApple CarPlayを利用しないときは、Apple CarPlayを終了してください。

Android Auto™を利用する

本機にAndroid Auto対応の端末をUSBケーブルで接続するとAndroid Autoを利用できます。

接続する

本機とAndroid Auto対応の端末をUSBケーブルで接続します。

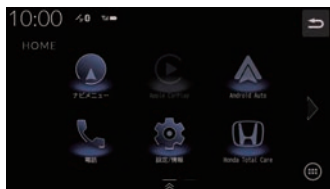
接続のしかたについては「接続する」(P166)をご覧ください。

お知らせ

- 最新のOSバージョンを使ってください。
- Android Autoの適合ソフトウェアは、<https://www.honda.co.jp/navi/support/>をご覧ください。
- [AUDIO] キーを押すとAndroid Autoの状態によってはAndroid Auto画面を表示します。
- 走行中はAndroid Autoの動作が制限される場合があります。
- 電波状態が悪いなどAndroid端末の状態によってはAndroid Autoの動作が制限される場合があります。
- Android Autoの各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 弊社は、Android Autoをご利用いただいたことにより生じた損害について一切の責任を負いません。
- Android Autoを利用しているあいだ、ユーザー情報および位置や速度などの車両情報がスマートフォンより送信されます。Android Autoを利用することで、それらの利用規約に同意したことになります。
- 接続時や起動するときは、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- Android Autoの詳細な機能などについてはhttps://www.android.com/intl/ja_jp/auto/をご覧ください。

Android Auto画面を表示する


- 1 **HOME** キーを押し、**Android Auto** にタップする



Android Autoの画面を表示します。

Google アシスタントを使う

Google アシスタントを起動する

- 1 **ステアリングリモコンの**  **キーを押す**
Google アシスタントが起動します。
- 2 **用件を話す**

Android Autoのマップを表示する

1 現在地 キーを押す



Android Autoのマップを表示します。

アドバイス

- Android Auto Turn By Turnが有効でない場合はナビゲーションの現在地画面を表示します。

Android Autoを終了する

本機からAndroid Auto端末を取り外すとAndroid Auto接続が解除され終了できます。Android Autoを利用中は、本機の機能が一部制限されますのでAndroid Autoを利用しないときは、Android Autoを終了してください。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作方法を説明します。

基本操作	49	地図向きについて	60
ナビゲーション機能について	49	自転車基準	60
ナビゲーションとは	49	北基準	60
GNSS (Global Navigation Satellite System)	49	地図の種類について	61
QZSS (Quasi-Zenith Satellite System)	49	2D マップ	61
マップマッチング	49	3D ビューマップ	61
GPS アンテナについて	49	ランドマークの表示を個別に設定する	61
地図データについて	49	地図色を設定する	62
測位について	50	地図の文字サイズを設定する	62
測位が正確にできない場合	50	案内表示について	63
誤差について	50	交差点案内図	63
3次元測位について	50	一般道方面看板表示	63
2次元測位について	50	リアル交差点案内図	63
非測位について	50	分岐表示	64
ルートの探索方法について	51	高速出入口イラストマップ	64
ルートの案内について	51	料金所案内図	64
ナビゲーションを操作するときの注意	52	レーン案内	65
マルチインフォメーション		合流案内	65
ディスプレイの交差点案内表示	52	踏切案内	65
ナビ画面について	53	ETCレーン案内	65
地図表示内容について	53	ゾーン30案内	65
現在地画面 (ルートなし)	53	高速道路逆走防止案内	66
現在地画面 (ルートあり)	54	地図を操作する	67
ルート上に表示されるアイコンについて	54	縮尺の切り換え	67
現在地画面 (Honda Total Care プレミアム加入時)	55	市街地地図について	67
スクロール画面	56	地図をスクロールする	67
2画面地図表示	57	ハイウェイモード表示について	68
行程ガイド	57	表示内容について	68
高速道路走行中	57	施設の情報について	69
その他のアイコンについて	57	地点メニューからの操作	70
ナビゲーションメニュー画面について	58	目的地に設定する	70
地図画面を設定する	59	経路地に設定する	70
地図画面を選択する	59	周辺の施設を探す	71
画面分割について	59		
1画面	59		
2画面	59		
2画面 (地図+オーディオ画面)	60		
		目的地の設定	72
		自宅を目的地に設定する	72
		地図画面から目的地を設定する	73

目的地を検索する	74
検索画面を表示する.....	74
オンライン検索.....	74
名称.....	75
住所.....	75
My スポット.....	75
登録地点.....	75
目的地履歴.....	75
ジャンル.....	76
周辺.....	76
前回の検索地点.....	76
電話番号.....	76
郵便番号.....	76
マップコード.....	76
緯度・経度.....	76
NaviCon を使う.....	77
対応機能について.....	77
目的地を送信する.....	77
友達マップを表示する.....	78

ルートの設定・編集 80

新規ルートの設定	80
ルート探索画面について.....	80
新規ルートを設定する.....	81
ルートを編集する	82
ルート編集メニューを表示する.....	82
ルート編集.....	82
新規ルート設定.....	83
ルート全体.....	83
ルート情報.....	83
案内停止 / 案内再開.....	83
保存ルート一覧.....	83
ルート消去.....	83
経由地を編集する	84
ルート編集画面から経由地を編集する.....	84
経由地を追加する.....	84
経由地の順番を入れ換える.....	85
通過道路を設定する.....	85
並走道路の切り替え.....	86
デモ走行を確認する	87

地点の登録・編集 88

登録地点を設定する	88
地点を登録する.....	88
自宅を登録する.....	88
登録地点を編集する	89
登録地点情報を編集する.....	89
よく行く地点を設定する.....	89
登録地点を消去する.....	90

VICS 機能 91

VICS について	91
VICS のメディアと特徴.....	91
FM 多重放送.....	91
ETC2.0.....	91
インターネット交通情報.....	91
VICS 情報のレベル.....	91
レベル1 (文字).....	91
レベル2 (簡易図形).....	91
レベル3 (地図).....	91
音声情報.....	92
VICS メニューを表示する.....	92
表示内容について.....	93
VICS メニューについて.....	94
VICS 記号について.....	95
VICS センターへのお問い合わせ.....	96
VICS センター お客様相談窓口.....	96
交通情報を調べる	97
文字・図形情報を見る.....	97
受信履歴を見る.....	97
VICS による自動処理	98
緊急情報の割り込み表示.....	98
再表示するには.....	98
ルート自動更新.....	98
図形 / 文字情報の割り込み表示.....	99
VICS 局を選ぶ	100

基本操作

ナビゲーション機能について

お知らせ

- 本機のナビゲーション機能と Apple CarPlay、Android Auto のナビゲーション機能は、連動しておりません。本機でルートを設定すると Apple CarPlay、Android Auto で設定したルートは解除され、反対に Apple CarPlay、Android Auto でルートを設定すると本機で設定したルートは解除されます。
本機でルート案内中に、ルート案内中の iPhone、Android Auto 端末を接続すると、本機のルート案内は解除され iPhone、Android Auto 端末のルート案内が Apple CarPlay、Android Auto として継続されます。

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GNSS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

GNSS (Global Navigation Satellite System)

衛星を利用して位置を検出するシステムを「GNSS」といいます。GNSS は、一般的な「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS」やヨーロッパの「GALILEO」、日本の「QZSS」の衛星を利用しています。GPS 衛星だけを利用した場合よりも位置精度が向上します。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で2分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに5分程度かかります。

QZSS (Quasi-Zenith Satellite System)

「準天頂衛星システム」とも呼ばれます。準天頂衛星は、日本の天頂付近に長時間滞在するため、GPS 衛星だけでは測位が困難だった場所でも、準天頂衛星の補完によって測位が向上します。

本機では準天頂衛星を活用したさまざまなサービスには対応しておりません。

マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて

本機の GPS アンテナでは、GPS、QZSS、GLONASS からの電波を受信します。

アドバイス

人工衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。

- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
- GPS アンテナの上や周辺にものを置いたり、ETC アンテナを取り付けたりしないでください。
- 携帯電話や PHS、パソコンなどを GPS アンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。

■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場、高層ビルで囲まれているような場所、山や樹木で囲まれているような場所、高速道路や電車の高架下などは人工衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自律航法になりますので、正確な自車位置の測位ができなくなることがあります。

■ 誤差について

人工衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されることがあります。

しばらく走行して人工衛星から電波を受信できるようになると、現在地のずれは自動的に修正されます。

自車位置が正しく表示されない原因

- ・ 高速道路と一般道路が近くにあるとき
- ・ 碁盤目状の道路を走行しているとき
- ・ 勾配の急な山岳路を走行しているとき
- ・ 直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- ・ エンジンスイッチ ON 直後
- ・ 渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき（車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため）
- ・ タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ・ ターンテーブルなどで旋回したとき
- ・ 角度が小さい Y 字路を走行しているとき
- ・ フェリーなどで車両運搬移動した後
- ・ 立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- ・ 広い道路で蛇行運転しているとき
- ・ 応急用タイヤなどに交換したとき
- ・ 雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

■ 3次元測位について

4個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度、経度、標高の3次元の位置を計算します。

■ 2次元測位について

3個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で3次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度、経度の2次元の位置を計算します。この場合3次元測位よりも位置精度は低下します。

■ 非測位について

人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。

ルートの探索方法について

- ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- 探索条件で有料優先を選択した場合でも、一般道路を通ったほうがよいと判断される場合は、有料道路を通らないルートを表示することがあります。また、自転車位置が有料道路上にある場合や目的地が有料道路上にある場合は、一般優先で探索を選択していても、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- 有料道路のインターチェンジ、パーキングエリア、サービスエリアを目的地や経由地にする場合は施設検索および高速略図から選択し、地図をスクロールさせずに設定してください。
- 同じ場所を目的地や経由地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- 通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- 目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- 道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- 長期通行規制などがあった場合、規制情報を考慮したルートを探索する場合があります。
- 冬季通行止めなどは一部対応していないものや期間が実際と異なる場合があります。
- スマートICを通るルートを探索した場合、スマートICに設けられている対象車種制限は考慮していません。

ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート上のときは目的地または次に通過する経由地までの距離を表示します。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときに、外れる前のルートに対する音声案内をする場合があります。
- 案内距離および案内地点までの所要時間は目安ですので多少ずれることがあります。

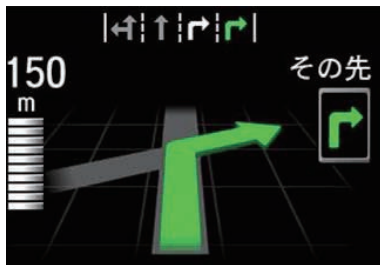
ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になるおそれがあります。
- 実際の工事規制や一方通行などの通行規制がルート案内と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されず、運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー（タイヤの回転数に比例）で測定しています。新品または規格外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- 走行中は道路の表示量が制限され、表示されない道路があります。（細街路など）
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

マルチインフォメーションディスプレイの交差点案内表示

ルート案内中、交差点の曲がる方向や交差点までの距離などをメーター内マルチインフォメーションディスプレイに表示します。

※ 車両の装備やグレードが交差点案内表示に対応している必要があります。



お知らせ

- 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。
- 仕様およびデザインは、車両のグレードによって異なります。また、改良のため予告なく変更することがあります。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

お知らせ

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画面は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

■ 現在地画面（ルートなし）

[現在地] キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



① 各アイコン (→P35)

画面上部に時計や本機の状態を表示します。

② VICS 提供時刻

VICSの提供時刻 (P93) と気象予報 (P271) を表示します。

③ (→P59)

タップすると、地図表示を北基準・自車基準・3Dに切り換えます。

④ 縮尺アイコン

表示されている地図の縮尺を示します。
[広域]または[詳細]にタップすると、縮尺を変更できます。

⑤ アイコン表示

地図上に案内音声ミュート、ゾーン30エリア、地図更新のアイコンを表示します。
(→P57,P276)

⑥ 現在地メニュー

現在地メニューを表示します。非表示のときは自車位置の地点情報を表示します。

自宅へ

自宅を目的地に設定します。(→P72)

メニュー

ナビメニューを表示します。(→P58)

目的地検索

目的地を検索します。(→P74)

ここを登録 / ここを編集

[ここを登録]にタップすると、カーソル地点を登録できます。(→P88)
登録地点にカーソルを合わせると[ここを編集]に表示が変わり、タップすると地点情報を編集できます。(→P89)

Honda Total Care

Honda Total Careの画面を表示します。
(→P261)

ルート消去

設定しているルートを消去します。

ショートカット

ショートカットメニューを表示します。
(→P40)

on / off

メニューの表示/非表示を切り換えます。

⑦

前の画面にもどります。

⑧ 自車位置アイコン

赤い円の中の矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

⑨ ボタン消

タップすると、地図上に表示されるボタンなどの表示を消します。タップするたびに、表示/非表示が切り換わります。

■ 現在地画面（ルートあり）



① 目的地 / 経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、距離を示します。自転車が経路から外れると表示されません。




経由地を設定している場合、タップするたびに、目的地 / 次の経由地の情報が切り換わります。

② (黄色の丸マーク)

次に曲がる交差点を示しています。

③ ルート

目的地までの道のりを色分けした線で表示します。

一般道		(緑色)
細街路		(ピンク色)
高速 / 有料道 フェリー航路		(水色)

④ 交差点名

(黄色の丸マーク) が示している交差点名を表示します。交差点名がない場合、ルート案内中は“交差点”と表示します。




⑤ 交差点案内アイコン

次に曲がる交差点 (黄色の丸マーク) までの距離と曲がる方向を示します。

⑥ 直線誘導線

目的地の方向を示す直線を表示します。

ルート上に表示されるアイコンについて

アイコン	マークの意味
	目的地
	経由地 (1~5)
	通過道路 (1~5)

■ 現在地画面 (Honda Total Care プレミアム加入時)

Honda Total Care プレミアムの会員サービスとして最新の地図データが配信されます。

→「自動地図データ更新サービスについて」(P276)

Honda Total Care プレミアム加入時に表示される現在地画面の表示内容について説明します。



① 自動地図データ更新アイコン

Honda Total Care プレミアムにご加入いただいていると表示します。

■ スクロール画面

地図スクロール(P67)を行ったときや検索後に表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



① カーソル (マーク)

スクロールした場所の中心地点に表示されます。

② 地点メニュー

カーソル地点を目的地や経由地に設定できます。

目的地にする (→P70)

経由地にする (→P70)

周辺検索 (→P71)

③ ここを登録

カーソルの地点を登録することができます。
[ここを登録]で設定した地点、および登録地点の上にカーソルを合わせると[ここを編集]に切り換わります。

■ 2画面地図表示



各画面のスケールや地図の向きを調整することができます。

■ 行程ガイド



① 交通情報

交通情報を表示します。
(赤：渋滞、オレンジ：混雑)

② 行程ガイド

交差点情報などを表示します。

■ 高速道路走行中







① 交通情報

交通情報を表示します。
(赤：渋滞、オレンジ：混雑)

② 行程ガイド

サービスエリアやパーキングなどの情報を表示します。

■ その他のアイコンについて

アイコン	マークの意味
	ナビの案内音声ミュート
	ゾーン30 時速30キロの速度規制区域 生活道路での歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、時速30キロの速度規制が実施されています。
 (青色)	自動地図データ更新 (→P276)
 (灰色)	

ナビゲーションメニュー画面について

現在地画面から[メニュー]をタップしたときに表示する、ナビゲーションメニューについて説明します。



- ① **周辺検索**
周辺の施設を検索します。(→P71)
- ② **目的地**
目的地検索画面を表示します。(→P74)
- ③ **目的地履歴**
過去設定した目的地を表示します。
(→P75)
- ④ **登録地点編集**
自宅や登録した地点を編集します。
(→P89)
- ⑤ **ルート**
設定したルートを編集します。(→P82)
- ⑥ **登録地点**
登録した地点を表示します。(→P75)
- ⑦ **ナビ設定**
ナビゲーションの設定をします。
(→P279)
- ⑧ **情報**
各種情報画面を表示します。(→P289)

地図画面を設定する

地図の表示状態を切り換えたり、ランドマークの表示や地図色を変更したりすることができます。

地図画面を選択する

1 地図にタップする



2 タップするたびに3D→北基準→自動車基準→3Dの地図に切り換わる



アドバイス

- 2画面の右画面を変更する場合は、右画面側の地図にタップします。



画面分割について

地図の画面分割方法について説明します。

■ 1画面

標準的な地図を1画面に表示します。



■ 2画面

縮尺、方位が違う2つの地図を同時に表示できます。



アドバイス

- 地図画面の表示設定は「ナビ詳細設定」の「地図」 「2画面表示」で設定します。
→「地図」(P283)

■ 2画面(地図+オーディオ画面)

地図とオーディオ画面を同時に表示します。



アドバイス

- 音楽を再生しているときは、再生や一時停止、早送り、早戻しの操作が行えます。また、リピートおよびランダム of の切り換えもできます。
- ラジオや交通情報を選択しているときは、プリセットボタンを表示します。
- AUDIO ソースによって、操作が行えるボタンの表示状態が異なります。
- 地図画面の表示設定は「ナビ詳細設定」の「地図」 「2画面表示」で設定します。
→「地図」(P283)

地図向きについて

切り換えることのできる地図の向きについて説明します。

■ 自車基準

自車の進行方向を上とした地図を表示します。



■ 北基準

北を上とした地図を表示します。



地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

■ 2Dマップ

「自車基準」または「北基準」の地図向きが選べる一般的な地図を表示します。



■ 3Dビューマップ

上空から見下ろした地図を表示します。



アドバイス

- 3Dビューマップは自車基準のみ表示できます。
- 3Dの地図角度は「NAVI設定」3D地図角度変更(→P283)で設定します。

ランドマークの表示を個別に設定する

ランドマークの種類ごとに表示する/しないを設定できます。

- 1 **HOME** キーを押す
HOME画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **NAVI設定** にタップする
- 4 **ナビ詳細設定** にタップする

5 **地図** にタップする



6 “施設マーク表示” 項目の **>** にタップする



7 “設定したい施設ジャンル” にタップする



8 種類ごとに表示 **する** / **しない** をタップしていく



表示するランドマークの選択が完了します。

アドバイス

- すべての施設マークを表示する場合は [全選択] にタップします。
- すべての施設マークを表示しない場合は [全選択解除] にタップします。
- 縮尺が10m～200mのときに表示します。

地図色を設定する

地図の表示色パターンを変更できます。

- 1 **HOME** キーを押す
HOME 画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **NAVI 設定** にタップする
- 4 **ナビ詳細設定** にタップする
- 5 **地図** にタップする



- 6 “地図色設定” のいずれかにタップする



選択した地図色設定が適用されます。

地図の文字サイズを設定する

地図の文字サイズを設定できます。

- 1 **HOME** キーを押す
HOME 画面を表示します。
- 2 **設定/情報** にタップする
- 3 **NAVI 設定** にタップする
- 4 **ナビ詳細設定** にタップする
- 5 **地図** にタップする



- 6 “文字サイズ” のいずれかにタップする



選択した文字サイズが適用されます。

案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声とともに表示します。

交差点までの距離や交差点名、方面名称を表示します。

交差点までの距離は、残距離バーでも表示します。



アドバイス

- AUDIO ソース画面をお楽しみの際は、割り込みの表示はありません。音声のみで案内されます。
- 右画面に表示される案内図は [×] にタップすると表示を消すことができます。



- 手動で表示する場合は、“交差点案内アイコン” にタップしてください。



一般道方面看板表示

走行中、一般道方面看板の情報が则表示します。



黄色の丸マークは案内対象の交差点を示しています。

リアル交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声とともに表示します。(データがある交差点のみ) 曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。

交差点までの距離は、残距離バーでも表示します。



注意

- 自転車位置マークは表示されません。

■ 分岐表示

ルート走行中、側道へ分岐する際に音声とともに表示します。(データがある交差点のみ) 交差点までの距離は、残距離バーでも表示します。



注意

- 自転車位置マークは表示されません。

高速出入口イラストマップ

ルート走行中、高速道路に進入する際に表示します。
高速入口までの距離は、残距離バーでも表示します。



注意

- 自転車位置マークは表示されません。
- 同じ入り口でも進入方向によっては表示されない場合があります。

料金所案内図

走行中に料金所に近づくと音声で案内します。

注意

- すべての料金所を案内するわけではありません。
- 各種割引料金は計算されません。
- 料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。



黄色の丸マークは案内対象の交差点を示しています。

アドバイス

- 高速略図表示中は表示されません。
- ルート走行中の場合はおすすめレーンが黄緑色の矢印で表示されます。
- 音声による案内を行うレーンもあります。
- すべてのレーンを案内するわけではありません。
- 実際のレーン状況と異なる場合があります。

合流案内

前方に合流地点が存在する場合、音声で案内します。
合流案内を「する」にしておく必要があります。
→「案内」(P282)

踏切案内

前方に踏切が存在する場合、音声で案内します。
「踏切案内」を「する」にしておく必要があります。
→「案内」(P282)

ETCレーン案内

ETCレーン案内を表示します。
ETCレーン案内を「する」にしておく必要があります。
→「案内」(P282)



ゾーン30案内

速度30キロ規制の「ゾーン30」エリアに入ると、音声案内とアイコンを表示します。
ゾーン30案内を「する」にしておく必要があります。
→「案内」(P282)

高速道路逆走防止案内

高速道路で逆走している可能性がある場合、メッセージと音声で案内します。高速道路逆走防止案内を「する」にしておく必要があります。

→「案内」(P282)

注意

- ・状況によっては案内されない場合や案内の内容が実際と異なる場合があります。進路を確認して安全に走行してください。

お知らせ

- ・下記の場合、案内をしなかったり、間違った案内をしたりすることがあります。
 - 車両の実際の位置がナビゲーションの表示位置と異なる場合
 - GPSなど各種センサーが故障している場合
 - 対象道路以外を走行している場合
 - 地図画面に表示されていない道路を走行している場合
 - 通知対象以外の逆走を行った場合
 - 警察や道路管理会社などの誘導により、Uターンを行う場合
 - 順走に復帰するためにUターンを行う場合

アドバイス

- ・メッセージは[×]をタップまたは各キーを押すと消えます。

地図を操作する

縮尺の切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

縮尺の切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

1 ピンチインまたはピンチアウトして、縮尺を変更する

→「操作のしかた」(P30)



指の動きに合わせて縮尺が切り換わります。

アドバイス

- 走行中に、ピンチイン/ピンチアウトを行うと、縮尺が1段階ずつ切り換わります。
- 1段階ずつ広域にするにはマルチタップ(P29)、詳細にするにはダブルタップ(P29)をすると便利です。
- [広域]または[詳細]をタップすることでも縮尺を切り換えることができます。また、ロングタップ(P29)すると連続的に縮尺の切り換えができます。

市街地地図について

縮尺を10/25/50mにするとビルや家の形まではっきりと見える市街地地図を表示できます。



アドバイス

- 地域によっては市街地地図が表示されない場合があります。

地図をスクロールする

現在地画面から別の場所へ移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。

1 フリックまたはスライドして見たい場所まで画面をスクロールする

→「操作のしかた」(P29)



※ マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- [戻る]にタップすると現在地画面(P53)に戻ることができます。
- ロングタップ(P29)することで連続的にスクロールすることができます。
- 地図にタップすると、タップした地点まで画面をスクロールします。

ハイウェイモード表示について

高速道路を走行するとハイウェイモード表示に切り換わります。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認できます。

アドバイス

- 高速略図は、都市間高速道路、都市高速道路および一部の有料道路や自動車専用道路について表示されます。

本書で使用している高速道路の略語は以下のとおりです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

表示内容について



① 施設情報

この場所にある施設のマークを表示します。

② 渋滞情報

混雑(橙)、渋滞(赤)の状況で色で表示します。

③ 施設名と到達予定時間、残り距離表示

SA、PA、IC、JCTの名称と自車位置からの距離および到達予定時刻を表示します。降りることができないインターチェンジは表示されません。

④ ▲, ▼

施設名のリストを前に進めたり戻したりできます。

⑤ VICS 記号表示

→「VICS 記号について」(P95)

⑥ ETC 専用アイコン

スマートICがある施設に表示します。

⑦ SAPA ボタン

ルート上のSA、PAのみを表示します。

施設の情報について

施設の情報が表示されます。



アドバイス

- 施設情報は優先度順に5つまで表示します。
- 工場出荷時の設定では、高速道路を走行すると自動でハイウェイモード表示に切り換わります。→「案内」(P282)

アイコン	マークの説明
	ガソリンスタンド 商標マークを表示します。
	コンビニエンスストア 商標マークを表示します。
	スマートIC
	レストラン
	軽食
	コーヒー
	公衆電話
	FAX
	休憩所
	名産
	宝くじ
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	ポスト
	ベッド
	お風呂
	温泉
	コインシャワー
	コインランドリー
	郵便局
	銀行
	ベビーベッド
	トイレ
	身障者用トイレ
	身障者施設
	ドッグラン


地点メニューからの操作

地点メニューを表示すると目的地や経由地、登録地点などの設定が行えます。

目的地に設定する

スクロール画面 (P56) の  地点を目的地に設定します。

アドバイス

- すでにルートが設定されている場合は、そのルートが消去して  地点を新しい目的地として設定します。

1 地点メニュー (P56) の 目的地にする にタップする



ルート探索画面 (P80) を表示します。

2 “探索条件” にタップする

3 案内開始 にタップする



目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

経由地に設定する

スクロール画面 (P56) の  地点を経由地に設定します。

アドバイス

- 目的地を設定している必要があります。

1 地点メニュー (P56) の 経由地にする にタップする



追加した経由地

2 探索開始 にタップします。 ルート探索画面 (P80) を表示します。

3 案内開始 にタップする



目的地、経由地までのルート探索が完了します。

アドバイス

- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

周辺の施設を探す

スクロール画面 (P56) の  地点周辺の施設を探します。

ここでは、例として周辺のコンビニを探します。

1 地点メニュー (P56) の
周辺検索 にタップする

2 **コンビニ** にタップする



3 探している“施設”にタップする



4 **地点表示** にタップする



選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

目的地の設定

自宅を目的地に設定する

- 1 **現在地** キーを押す
- 2 **自宅へ** にタップする



自宅を目的地に設定し、ルート探索を開始します。

アドバイス

- あらかじめ登録地点編集で自宅を登録します。→「登録地点を編集する」(P89)

地図画面から目的地を設定する

- 1 **現在地** キーを押す
- 2 地図スクロールし、目的の地点にカーソルを合わせる



- 3 **目的地にする** にタップする

▼
カーソル地点を目的地に設定します。

アドバイス

- 目的地設定のほか経由地の設定、周辺検索をすることができます。

目的地を検索する

本機では、さまざまな方法で目的地を検索することができます。

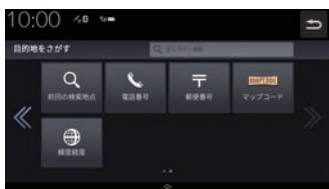
検索画面を表示する

1 **現在地** キーを押す

2 **目的地検索** にタップする



3 いずれかの「検索方法」にタップする



タップした検索方法の画面を表示します。

アドバイス

- 目的地設定のほか経路地の設定、目的地の切替、地点を表示することができます。

■ オンライン検索

Honda Total Careを利用して目的地を検索できます。

ご利用には Honda Total Care プレミアムのお申し込みが必要です。詳しくは Honda Total Care プレミアムのホームページをご確認ください。

URL : <https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>



[オンライン検索] 欄に施設名を入力して [検索] にタップすると、検索結果を表示します。検索結果は 50 件まで表示できます。



検索結果は施設 / 住所で並び替えることができます。

■ 名称

施設名を入力して検索します。



施設名を入力し、[検索]にタップすると検索結果を表示します。検索は入力した文字に該当する施設が3000件以下になったときに選択できます。



検索結果は50音順/距離順で並び替えることができます。

■ 住所

住所を入力して検索します。

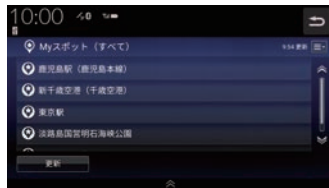
都道府県から順に選択し、住所を入力します。



入力した住所を中心とした地図と情報を表示します。

■ Myスポット

会員サイトで登録したMyスポットを表示します。



アドバイス

- Myスポット検索を使用するには会員登録が必要です。
→[Honda Total Care] (P255)

■ 登録地点

登録済みの地点を新しい順に表示します。



■ 目的地履歴

過去に設定した目的地を新しい順に表示します。



■ ジャンル

ジャンルと地域を選択して検索します。



検索結果は最大100件をリストで表示し、50音順/距離順で並び替えることができます。

■ 周辺

周辺の施設を検索します。

検索したい施設をタップします。



検索結果を表示します。最大100件をリストに表示します。

アドバイス

- ルート設定している場合、現在地周辺、目的地周辺、ルート周辺で並び替えることができます。

■ 前回の検索地点

前回検索した地点を表示します。

■ 電話番号

電話番号を入力して検索します。入力した電話番号に該当する地点の地図が表示されます。



■ 郵便番号

郵便番号を入力して検索します。入力した郵便番号に該当する地点の地図が表示されます。



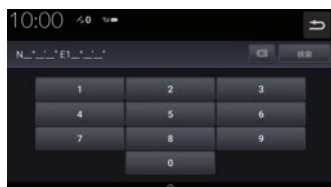
■ マップコード

マップコードを入力して検索します。



■ 緯度・経度

緯度→経度の順に2桁ずつ入力します。入力した緯度経度に該当する地点の地図が表示されます。



NaviConを使う

スマートフォン(NaviConアプリが使用できる端末)から目的地を探し、本機に転送することができます。

転送後、本機からルートの探索を行います。



注意

- 運転中にスマートフォンを手に持って操作する行為はたいへん危険ですので絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、スマートフォンを車内に放置しないでください。

お知らせ

- 本機能をiPod/iPhoneでご使用になるときは、iPod/iPhoneをiPod/iPhoneのUSBケーブル(Apple純正)で本機に接続しないでください。ケーブルとの同時接続を行うと本機能はご使用になれません。
- スマートフォンに「NaviCon」アプリを事前にダウンロードしておく必要があります。詳しくは、NaviConサポートサイトをご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>
- NaviConアプリが表示する地図の縮尺はスマートフォンによって異なります。また、NaviCon側の地図と本機側との地図の縮尺に差異を感じる場合があります。

お知らせ

- NaviConアプリを操作中、スマートフォンの操作音が本機を經由して車両のスピーカーから鳴る場合があります。この現象は、スマートフォン側の操作音をOFFすると改善します。
- 本機で表示できない文字列は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(絵文字や特殊文字など)

■ 対応機能について

NaviConアプリとの連携機能は以下のとおりです。

NaviConとの連携	対応
地図スクロールの遠隔操作	○
地図縮尺変更の遠隔操作	○
目的地送信	○
友達マップとの連携	○

■ 目的地を送信する

1 スマートフォンを本機に接続する

あらかじめ本機とスマートフォンをBluetooth接続(シリアル通信)しておく必要があります。

→「Bluetooth接続」(P303)

2 スマートフォンで目的地を探し、本機に転送する

本機にスマートフォンから転送した地点を目的地に設定します。

次のページにつづく

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー (P56) のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地点の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P70)
- NaviConアプリでピンをドロップすると、マップコードが表示されます。このマップコードを利用すれば、スマートフォンを本機に接続することなく本機に地点を設定できます。
→「マップコード」(P76)

■ 友達マップを表示する

友達マップとの連携を行います。

- 1 **スマートフォンを本機に接続する**
あらかじめ本機とスマートフォンをBluetooth接続 (P303) しておく必要があります。
- 2 **スマートフォンで友達マップの機能を開始する**
- 3 **HOME** キーを押す
HOME 画面を表示します。
- 4 **ナビメニュー** にタップする
現在地画面の[メニュー]にタップしても表示できます。
- 5 **情報** にタップする
- 6 **NaviCon 友達マップ** にタップする
- 7 「友達マップ」の **ON** にタップする



NaviConから友達情報が通知されると地図画面に友達アイコンを表示します。

友達マップ全体表示

現在表示できる友達アイコンがすべて表示できる地図画面に切り換えます。

1 「友達マップを表示する」(P78)の手順7まで操作する

2 「友達マップ全体表示」の表示する にタップする



友達マップを全体表示します。

アドバイス

- 友達マップを利用する場合は、NaviConを最新バージョンに更新してください。ただし、NaviConのサポートが終了しているiOS、Androidのバージョンでは最新バージョンに更新しても本機能をご利用になれない可能性があります。
- [リスト]にタップすると、メンバーのリストを表示します。リスト表示中は、友達マップの情報を更新しません。



- 友達マップに表示可能なメンバーは最大20件です。
- 全体表示の友達マップとリスト表示中の友達マップの最大縮尺は250kmです。
- 「友達マップを表示する」(P78)で「友達マップ」を[ON]に設定すると、現在地図画面に自動的にメンバーのアイコンを表示させることができます。
- 以下の場合、友達マップの情報を表示できません。
 - 自分のアイコン (NaviConで表示されている青い友達アイコン)
 - 本機に表示できない (海外など) 友達アイコン
 - スマートフォン側で友達マップの機能を停止した
 - 認証キーで認証エラーとなった
 - ご自身のスマートフォン側で確認メッセージが表示されている

ルートの設定・編集

新規ルートの設定

目的地の検索結果画面から目的地を設定します。

ルート探索画面について



① ルートの情報^{*1}

現在探索されているルートの総距離、到着時間、料金を表示します。

② ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

③ ルート探索条件

異なる条件でルートを探します。

スマート	時間、料金、ETC割引をバランス良く考慮したルート
最速	とにかく最短時間で目的地まで到着できるルート
無料道優先	一般道、無料の高速道路を優先した最短時間ルート
ETC割引	ETC割引を積極的に利用、料金を割安にするルート
らくらく	道幅が広めで右左折が少なく走り易い初心者向けルート
省燃費	燃料消費量が最小でCO ₂ 排出量も削減できるルート

アドバイス

- 優先するルートタイプは最大5つまで表示することができます。その中からひとつを選択します。
→「ナビ詳細設定」(P280)

④ ルート編集 (P82)

ルート編集画面を表示し、経由地の追加や削除などができます。

⑤ ルート情報 (P83)

現在探索されているルートの詳細情報を表示します。

⑥ ルート消去

探索したルートを消去します。

⑦ デモ走行 (P87)

探索したルートを仮想的に走行させ、確認できます。

⑧ 案内開始 (P81)

現在探索されているルートの案内を開始します。

^{*1} 表示される料金は料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

新規ルートを設定する

1 目的地を検索する

→「目的地を検索する」(P74)

2 「目的地にする」にタップする



ルート探索画面を表示します。

3 設定したい「探索条件」にタップする



4 「案内開始」にタップする



新規ルートの設定が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- ・「ルート編集する」(P82)の[新規ルート設定]からも新規ルートを設定できます。

ルートを編集する

ルート編集メニューを表示する

1 **現在地** キーを押す

2 **メニュー** にタップする



3 **ルート** にタップする



ルート編集メニュー画面を表示します。

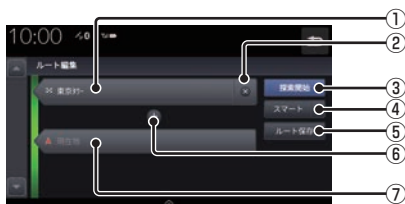
ルート編集	ルート編集画面を表示し、設定したルートの編集ができます。
新規ルート設定	現在のルートを削除し、新しいルートを設定できます。
ルート全体	ルートの全体を表示します。
ルート情報	ルートの詳細情報を確認できます。
案内停止/案内再開	ルート案内を停止、または再開できます。
保存ルート一覧	保存したルートを表示できます。

アドバイス

- HOMEメニュー (P37) から [ナビメニュー] → [ルート] にタップしてもルート編集メニューを表示できます。

■ ルート編集

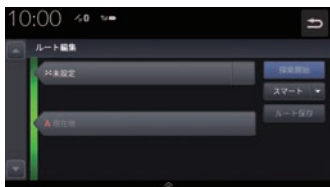
設定したルートの目的地、経由地、探索条件が編集できます。



- 目的地**
タップすると目的地を変更できます。
- ×**
タップすると目的地または経由地を消去します。
- 探索開始**
編集した内容でルート探索を開始します。
- 探索条件**
探索条件を変更できます。
- ルート保存**
編集したルートを保存します。
- +**
タップすると経由地を追加できます。
→「[経由地を編集する](#)」(P84)
- 経由地**
タップすると経由地を変更できます。

■ 新規ルート設定

新規ルートを作成できます。

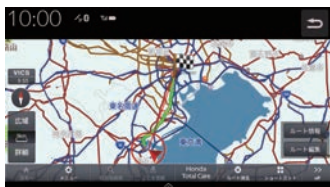


[未設定]をタップすると目的地メニューを表示します。

→「目的地を検索する」(P74)

■ ルート全体

ルート全体を表示します。

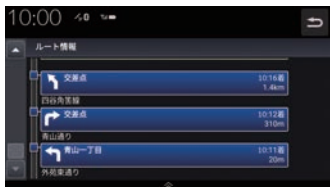


[ルート情報]にタップするとルート情報画面(P83)を表示します。

[ルート編集]にタップするとルート編集画面(P82)を表示します。

■ ルート情報

交差点情報とレーンガイドを表示します。

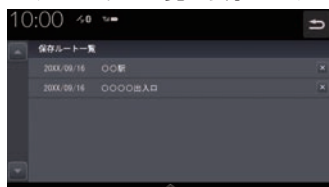


■ 案内停止 / 案内再開

タップするたびにルート案内の停止 / 再開が切り換わります。

■ 保存ルート一覧

保存されたルートを一覧で表示します。



[×]にタップすると保存ルートを削除できます。

■ ルート消去

[ルート消去]にタップすると設定したルートを消去できます。



経由地を編集する

ルート編集画面から経由地を編集する

■ 経由地を追加する

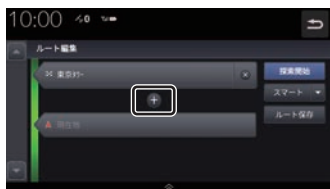
アドバイス

- 地点メニュー (P56) からでも経由地を設定できます。

1 ルート編集画面を表示する

→「ルート編集メニューを表示する」
(P82)

2 **+** にタップする



3 いずれかの「検索方法」にタップし、場所を探す



→「目的地を検索する」(P74)

4 **地点の追加** にタップする



ルートに経由地が設定されます。

5 **探索開始** にタップする



経由地が追加され、ルート探索画面を表示します。

アドバイス

- 経由地は最大5か所まで設定できます。

■ 経由地の順番を入れ換える

1 ルート編集画面を表示する

→「ルート編集メニューを表示する」
(P82)



2 [↑↓] にタップして経由地の順番を入れ換える



3 [探索開始] にタップする

入れ換えた順番でルート探索を開始します。

アドバイス

- [↑↓] にタップすると、目的地と経由地を入れ換えることができます。

通過道路を設定する

目的地に着くまでに通過したい道路を設定します。

アドバイス

- ルートが設定されている状態で操作してください。
- 経由地5ヶ所、通過道路5ヶ所、合わせて最大10件まで設定できます。

1 ルート上の任意の地点をロングタップする

→「操作のしかた」(P29)

ロングタップした地点に ● アイコンを表示します。

アドバイス

- ロングタップしたまま右周りに回転させると拡大地図、左周りに回転させると詳細地図を表示します。

拡大地図



詳細地図



2 ● アイコンをロングタップして選択する

3 通過したい道路までスライド (P30) し、指をはなす



通過道路設定画面を表示します。

4 通過したい道路を確認し、[通過地にする] にタップする

5 [案内開始] にタップする

次のページにつづく

アドバイス

- 通過道路はルート編集画面で確認できます。
- 通過道路はルート編集画面から追加はできません。消去と順番の入れ換えのみ編集できます。
- 通過道路を近接の道路に変更したい場合は[次の道路]または[前の道路]にタップして確認します。
- 通過道路は地図上にアイコンで表示されます。

並走道路の切り替え

走行中の道路を一般道路上または有料道路上に切り替えます。自車位置が誤った道路上にある場合、本機能を使用して修正します。

- 1 現在地画面で **ショートカット** → **並走路切替** にタップする



- 2 **OK** にタップする



並走している道路に切り替えます。

アドバイス

- 一般道路と有料道路が並走している場合のみ切り替えられます。

デモ走行を確認する

案内開始する前にデモ走行を確認することができます。

1 目的地を設定する

→「目的地の設定」(P72)

2 ルート探索画面から **デモ走行** にタップする



デモ走行を開始します。

アドバイス

- ・ [加速] をタップするたびに 0.5 倍 → 1.0 倍 → 1.5 倍 → 2 倍 → 2.5 倍 → 3 倍とデモ走行の速度を変更できます。
- ・ [停止] にタップするとデモ走行を停止し、加速速度もリセットします。
- ・ [デモ終了] にタップするとデモ走行を終了します。

地点の登録・編集

登録地点を設定する

地点を登録する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地点に設定しておくと、ルート設定が簡単に行えます。

- 1 現在地画面で **目的地検索** にタップする
→「目的地を検索する」(P74)
- 2 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す
- 3 探した場所が表示されたら **ここを登録** にタップする



地図上にアイコンが表示され、探した地点の登録が完了します。

アドバイス

- フロントカメラが接続されている場合は、「通常地点」「カメラ登録地点」のどちらで登録するか確認するテロップが表示されます。
- 登録地点は最大500件まで登録できます。
- 現在地画面で[ここを登録]にタップすると、現在地を登録します。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

- 1 「**地点を登録する**」(P88)の手順で**自宅**の位置を検索し、登録する
- 2 **メニュー** → **登録地点編集** にタップする
登録地点一覧を表示します。
- 3 “**自宅に登録したい**”登録地点にタップする



- 4 **自宅** にタップする



地図上に自宅マークが表示され、自宅の登録が完了します。

登録地点を編集する

自宅や登録地点の変更および消去が行えます。

登録地点情報を編集する

- 1 現在地画面で **メニュー** にタップする
- 2 **登録地点編集** にタップする
登録地点一覧を表示します。
- 3 編集したい登録地点にタップする
- 4 **地点編集** にタップする



登録地点情報編集画面を表示します。

- 5 各項目を編集する

登録地点の編集が完了します。

アドバイス

- 自宅設定している登録情報の「マーク」を「自宅マーク」から変更すると、自宅登録が解除されます。

よく行く地点を設定する

よく行く場所や施設などを登録することで、ショートカットメニュー (P40) からすぐに目的地を設定できます。

- 1 現在地画面で **メニュー** にタップする
- 2 **登録地点編集** にタップする
登録地点一覧を表示します。
- 3 よく行く地点に設定したい登録地点にタップする
- 4 **マーク〇にする** にタップする



選択したマークに登録地が設定されます。
よく使う登録地にマーク (1~5) が登録されます。

次のページにつづく

アドバイス

- よく使う地点は5件まで登録できます。
- 登録済のマークを選択した場合、元の登録地のマーク登録は削除されます。
- [internavi Myスポットへ送る]にタップすると、選択した地点をMyスポットに登録することができます。
- 登録したよく使う地点は、現在地画面の[ショートカット]→[よく使う地点]から設定できます。
- 画面をスクロールし、登録地点にカーソルを合わせて現在地メニューの[ここを編集]にタップすることでも登録地点情報を編集できます。



登録地点を消去する

設定した登録地点を削除します。

- 1 現在地画面で **メニュー** にタップする
- 2 **登録地点編集** にタップする
登録地点一覧を表示します。
- 3 削除したい登録地点にタップする
- 4 **削除** → **OK** にタップする



選んだ登録地点の削除が完了します。

VICS 機能

VICS について

VICS センターに集められた交通情報を利用できます。

VICS のメディアと特徴

VICS のメディアには、FM 多重放送、ETC2.0、インターナビがあります。

お知らせ

- 本章では、各メディアで対応できる機能について、以下のマークで表記します。

マーク	メディア
FM	FM 多重放送
ETC2.0	ETC2.0
インターナビ	インターナビ

■ FM 多重放送

FM 放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地の FM 放送局から放送されています。

本機は、VICS WIDE にも対応しています。

■ ETC2.0

専用狭域(きょういき)通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能のためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。ETC2.0 については、「ETC2.0 サービス」(P210)をご覧ください。

※別売の ETC2.0 車載器が必要です。

■ インターナビ交通情報

全国の VICS 情報とフローティングカー情報を統合して作られた Honda 独自の交通情報です。インターナビ交通情報を利用するには、Honda Total Care に会員登録する必要があります。

詳しくは「Honda Total Care」(P255)をご覧ください。

FM

VICS 情報のレベル

VICS 情報にはレベル 1～レベル 3 までの 3 種類の表示レベルがあります。

ETC2.0 では、表示に加えて音声情報が提供されています。

■ レベル 1 (文字)

文字による交通情報を表示します。



■ レベル 2 (簡易図形)

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。



■ レベル 3 (地図)


地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。



アドバイス

- 縮尺が 10m～1km のときに表示します。

音声情報

音声情報を受信した場合、 にタップすると音声データを読み上げます。



VICSメニューを表示する

1 HOME画面から **ナビメニュー** にタップする

現在地画面から[メニュー]にタップすることでも表示できます。

2 **情報** にタップする

3 **VICS** にタップする



VICSメニューを表示します。

→「VICSメニューについて」(P94)

■ VICSメニューについて



① 文字情報

レベル1 (文字情報) を表示します。

② 図形情報

レベル2 (簡易図形) を表示します。

③ 受信履歴

受信した情報の履歴を表示します。

④ 緊急情報

割り込んだ緊急情報を再度表示して確認できます。

■ VICIS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

駐車場情報を受信した場合には表示します。

- | | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |

渋滞情報

赤色(実線)	渋滞(現在情報/予測情報)
赤色(点線)	渋滞(インターナビフローティング情報)
橙色(実線)	混雑(現在情報/予測情報)
橙色(点線)	混雑(インターナビフローティング情報)
青色(実線)	順調(現在情報/予測情報)
青色(点線)	順調(インターナビフローティング情報)

アドバイス

- ・ 通行止めは高速略図 (P68) で表示します。
- ・ 渋滞情報は表示する/しないを設定できます。→「VICIS の設定」(P285)
- ・ VICIS WIDE の地図表示(レベル3)では、「現在情報」と「統計情報」が同一の渋滞表示となります。
- ・ 駐車場によっては、駐車場情報の提供をしない場合もあります。

規制情報

- | | | | |
|--|--------|--|---------------|
| | 事故 | | 通行止め |
| | 路上障害 | | 速度規制 (例 60km) |
| | 作業 | | 車線規制 |
| | 進入禁止 | | 対面通行 |
| | 徐行 | | 入口閉鎖 |
| | 片側交互通行 | | 冬期通行止め |
| | チェーン規制 | | その他の規制情報 |
| | 入口制限 | | 気象警戒速報 |
| | 故障車 | | 災害速報 |
| | 工事 | | 大型通行止め |
| | 凍結 | | 緊急情報 |

VICS センターへのお問い合わせ

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- VICS 車載器の調子や使用方法
- VICS 車載器の受信可否に関して
- 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- VICS 情報の受信エリアに関して
- VICS 情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICS センター お客様相談窓口」までご連絡ください。

- 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- VICS の概念に関して
- サービス提供エリアに関して

■ VICS センター お客様相談窓口

電話番号	0570-00-8831 (PHS、IP 電話などからはご利用 できません)
受付時間	平日 9:30 ~ 17:45 (土曜・日曜・祝日・年末年始休 暇を除く)
FAX 番号	03-3562-1719(24 時間受付)
URL	https://www.vics.or.jp/

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店にご連絡いただくことをおすすめします。

交通情報を調べる

VICSを利用することで、交通情報を確認できます。

FM

文字・図形情報を見る

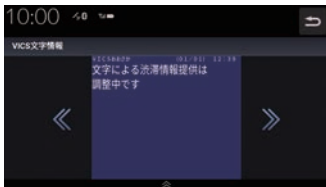
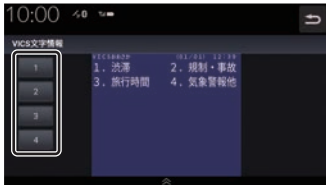
文字または図形によるVICS情報を確認できます。

1 VICSメニューを表示する
(→P92)

2 **文字情報** または **図形情報** に
タップする



3 知りたい情報の“番号”にタップする



選んだ情報を表示します。

ETC2.0

受信履歴を見る

VICSの受信履歴を確認することができます。

1 VICSメニューを表示する
(→P92)

2 **受信履歴** にタップする



VICSの受信履歴を表示します。

VICSによる自動処理

VICSには、安全で快適な運転をしていただくため、自動で処理される機能があります。

FM

緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。



☑ にタップすると元の画面に戻ります。

アドバイス

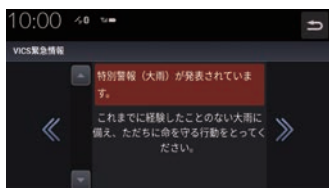
- 1ページ以上ある場合、[自動送り]/[手動送り]にタップすると自動送り、または手動送りに切り換えることができます。また、◀、▶ にタップしてページを送ることができます。

■ 再表示するには

割り込んできた緊急情報を再度表示して、確認できます。

1 VICSメニューを表示する
(→P92)

2 緊急情報 にタップする



緊急情報を表示します。

FM ETC2.0

ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。



アドバイス

- [VICS 情報考慮] を [する] に設定しておく必要があります。
→「ナビ詳細設定」(P280)

図形/文字情報の割り込み表示

ETC2.0 情報または交通情報を受信すると、図形情報または文字情報が自動的に表示されます。



☰ にタップすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 操作をしなければ約 10 秒間で元の画面に戻ります。
- 交通情報は図形情報のみです。
- [ETC2.0の設定]の「ETC2.0受信音」(P286)でETC2.0情報の受信音を鳴らす/鳴らさないを設定できます。
- 交通情報は受信音が鳴りません。

FM

VICS 局を選ぶ

工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する[自動選局]に設定されていますが、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

1 HOME 画面から **ナビメニュー** にタップする

現在地画面から[メニュー]にタップすることでも表示できます。

2 **ナビ設定** にタップする

3 **VICS 設定** にタップする

4 **FM 選局** にタップする

5 “設定したい選局方法” にタップする



自動選局	自車位置のVICS局を優先的に選局します。
手動選局	手動で周波数を設定します。 [+]、[-]にタップして周波数を設定し[決定]にタップします。



VICS 局の設定が完了します。